

官民連携基盤整備推進調査費 実施案件一覧(公園関係)

年度-番号	調査名	実施主体	対象地域	概要	実施計画額(千円)	
					事業費	国費
5-1	長根公園施設再整備による地域活性化のための基盤整備検討調査	八戸市	青森県八戸市	市の中心市街地にあり、体育館のほか、野球場、屋外水泳プールなどを有する長根公園においては、体育館の老朽化や耐震性に伴う建て替え、既存施設の有効活用や統合による適性を図ることが必要であるため、民間事業者によるスポーツイベント等の開催やPPP/PFIを活用した公園施設整備等と合わせて、公園施設の再整備に係る概略設計やPPP/PFI導入可能性調査等を行う。	26,000	13,000
5-2	最上川ふるさと総合公園再整備によるフルーツ・ツーリズムの推進のための基盤整備検討調査	山形県	山形県寒河江市	消費者に、山形県内のフルーツ産地を訪れ、様々な形でフルーツを楽しんでもらう「フルーツ・ツーリズム」の推進に向けて、東北中央自動車道と山形自動車道の結節点に近い寒河江SAのハイウェイオアシスとして整備された最上川ふるさと総合公園を再整備し、フルーツを通じた誘客や県内周遊の拠点とするため、民間事業者によるイベント等の開催やPPP/PFIを活用した収益施設の整備等と合わせて、公園の再整備に係る概略設計やPPP/PFI導入可能性調査等を行う。	20,000	10,000
5-3	南西部エリアにおける公園整備による地域活性化のための基盤整備検討調査	小平市	東京都小平市	新たな都市公園として鷹の台公園及び鎌倉公園の整備を検討している南西部エリアにおいて、総合体育館等を有する中央公園を含めたエリア全体の既設公園の機能分担や連携・強化を図るため、民間事業者によるスポーツイベント等の開催やPPP/PFIを活用した収益施設整備等に合わせて、鷹の台・鎌倉公園の整備に係る概略設計やPPP/PFI導入可能性調査等を行う。	22,300	11,150
5-4	大矢部弾庫跡地を活用した地域活性化のための基盤整備検討調査	横須賀市	神奈川県横須賀市	衣笠地区の中心に位置し、貴重な自然資源とともに三浦一族にゆかりのやぐらなどの歴史資源を有する大矢部弾庫跡地においては、自然や歴史などの地域資源を生かした交流拠点の整備により、地域活性化を図る必要があるため、民間事業者による滞在施設等の整備・管理運営やガイドツアー・イベント等の企画と合わせて、公園整備に係る概略設計やPPP/PFI導入可能性調査等を行う。	37,000	18,500
5-7	大内新田地区における賑わい創出のための基盤整備検討調査	静岡市	静岡県静岡市	国道1号BPや主要地方道静岡清水線に隣接し交通アクセスが良く、地域の核となるポテンシャルを有している大内新田地区においては、人口減少等により賑わいが低下しており、広域から人を呼び込むことで交流人口の増加が必要であるため、民間事業者によるスポーツイベント等の開催やPPP/PFIを活用した公園・多目的広場・生涯学習交流館の管理運営と合わせて、公園・駐車場整備・多目的広場に係る基本計画の策定やPPP/PFI導入可能性調査等を行う。	50,000	25,000
5-10	富田山公園再整備による地域活性化のための基盤整備検討調査	一宮市	愛知県一宮市	富田山公園は、宿泊施設や屋外プール施設の廃止により、利用者の減少が続いており、官民連携による施設跡地を利活用した新たな賑わいを創出するため、民間事業者によるイベント等の開催や公園再整備に係る概略設計及び収益施設整備等におけるPPP/PFI導入可能性調査等を行う。	48,000	24,000
5-13	竹取公園再整備による地域活性化拠点形成のための基盤整備検討調査	広陵町	奈良県広陵町	県営馬見丘陵公園に隣接する竹取公園においては、民間活力導入による魅力向上、地域資源や地場産業を活用した新たな賑わい創出に取り組み、公園を核とした賑わいのある拠点地区形成を図るため、民間事業者による集客イベント等の開催やPark-PFIを活用した収益施設整備等に合わせて、公園再整備に係る概略設計やPPP/PFI導入可能性調査を行う。	20,000	10,000
5-16	三笠公園再整備による地域活性化のための基盤整備検討調査	横須賀市	神奈川県横須賀市	世界3大記念艦の戦艦三笠を展示し、「日本の都市公園100選」「日本の歴史公園100選」に選ばれるなど、本市を代表する三笠公園においては、設備の老朽化が進行し、魅力が低下していることから、再整備を実施することで新たな魅力を創出する必要がある。そのため、民間事業者によるスポーツイベントやショップの整備等と合わせて、公園再整備に係る基礎調査や概略設計及びPPP/PFI導入可能性検討を行う。	27,200	13,600
5-18	「シーガーデン」での公園整備によるにぎわい創出のための基盤整備検討調査	吉田町	静岡県吉田町	吉田町は、静岡県中部の沿岸部に位置し、津波防災と賑わい創出に一体的に取り組む「シーガーデンシティ構想」を推進している。その中で、防災対策に一定のめどが立った川尻地区では、町民からの要望に応える施設を備えた「レジャーとスポーツゾーン」としての公園整備を進めるなど、賑わいの創出に軸足を移していく。そのため、民間事業者による音楽フェスの開催やオンデマンド型タクシー運行開始に合わせ、公園整備に係る概略設計やPPP/PFI導入可能性調査を行う。	18,300	9,150

官民連携基盤整備推進調査費 実施案件一覧（公園関係）

年度-番号	調査名	実施主体	対象地域	概要	実施計画額（千円）	
4-5	大垣公園における地域活性化拠点形成のための基盤整備検討調査	大垣市	岐阜県大垣市	大垣藩十萬石を象徴する大垣城が存在する大垣公園において、公園内にあって老朽化した大垣城ホール改築を計画しており、中心市街地にある都市公園の強みを活かした地域活性化を図るため、民間事業者によるイベント開催や収益施設の整備等に合わせ、公園施設の再整備及び大垣城ホール改築に係る需要調査、概略設計及び整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	24,000	12,000
4-7	大津湖岸なぎさ公園におけるにぎわい拠点形成に向けた基盤整備検討調査	大津市	滋賀県大津市	琵琶湖沿岸に位置する大津湖岸なぎさ公園において、公園のポテンシャルを最大化し魅力向上を図るため、民間事業者による便益施設の設置や湖上イベントの開催と合わせて、公園の再整備にかかる概略設計等を行う。	40,000	20,000
4-8	西京極総合運動公園スポーツ施設改修による広域交流拠点形成のための基盤整備検討調査	京都市	京都府京都市	京都市内随一の広域・基幹的施設として各種大規模スポーツ大会が開催されている西京極総合運動公園において、老朽化するプール・野球場の機能確保に合わせ、施設利用者及び地域住民の利便性向上や公園を拠点とした地域の活性化を図るため、民間事業者によるイベント開催や収益施設の整備等に合わせ、プール・野球場の改修に係る現況調査、概略設計及び改修及び公園全体の管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	20,000	10,000
4-11	岸和田市内における公園再整備による地域活性化のための基盤整備検討調査	岸和田市	大阪府岸和田市	年間約16万人以上が来園する中央公園や多くの観光客が来訪する千亀利公園はじめとする岸和田市内の公園において、地域の活動の拠点となる公園を既存ストックとして活用した地域活性化を図るため、民間事業者によるイベント開催や収益施設整備に合わせ、市内公園の再整備に係る概略設計や公園施設の機能集約に係る整備効果検討を行うとともに公園の整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	30,000	15,000
4-16	広島市都心部における「平和の都心回廊」を形成するための基盤整備検討調査	広島市	広島県広島市	平和記念公園の南側に位置する平和大通りに対し、魅力ある空間を創出し、都心の回遊を促す「平和の都心回廊」を形成するため、Park-PFIを活用した民間事業者による公園整備や収益施設整備等に合わせた平和大通りの公園整備に係る基礎調査、概略設計等を行う。	25,800	12,900
4-20	坪井川緑地における地域活性化のための基盤整備検討調査	熊本市	熊本県熊本市	熊本市中心部近傍に位置し交通アクセスが良く、近年、民間事業者からも利活用の要望が高まっている坪井川緑地において、必要な駐車場等の施設の不足や、ニュースポーツ施設の整備等のニーズに対応し、公園の魅力向上等を図り、かつ維持管理運営を効率化するため、民間事業者によるイベント等の開催や鉄道・路線バスの利用促進に資する広報等への取組と合わせて、公園の再整備・拡張等に係る概略設計や公園の再整備・拡張及び管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	16,000	8,000
4-23	西部緑地公園の再整備による更なる賑わい創出のための基盤整備検討調査	石川県	石川県金沢市	石川県内全域からアクセスが良い金沢市西部に位置する西部緑地公園において、老朽化への対応及び複雑化した園内動線の解消等を実施するため、民間事業者による公園内での大規模なイベントの開催や公園の管理運営等と合わせて、公園の再整備に係る概略設計及び整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	26,000	13,000
4-24	坂出緩衝緑地再整備による地域活性化のための基盤整備検討調査	坂出市	香川県坂出市	坂出緩衝緑地は、番の洲臨海工業団地の開発に伴い、地域住民の生活環境保全を目的とする環境対策と新しい市街地整備を目指して整備された都市公園であるが、整備から40年を超え、木々が大きく繁茂しており、憩いの場等としての公園の利活用について改めて整理するため、民間事業者による各種イベント、便益施設整備に合わせ、緩衝緑地再整備に係る概略設計及び整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	26,000	13,000
3-3	西公園を活用した観光振興及び地域活性化のための基盤整備検討調査	山形市	山形県山形市	東北中央自動車道の山形PAに隣接する西公園において、公園の機能を充実した上で、山形PAから直接利用できるようにするため、民間事業者による収益施設の整備・運営及び公園の管理に係るPPP/PFI導入可能性検討と合わせて、公園の施設配置検討、山形PA第2駐車場の予備設計を行う。	22,000	11,000
3-5	敷島公園水泳場の建替えによる地域活性化のための基盤整備調査	群馬県	群馬県前橋市	国民スポーツ大会が予定されている敷島公園水泳場において、老朽化した水泳場の建替えによる地域活性化を図るため、民間事業者によるイベントや便益施設の設置等と合わせて、水泳場及び関連する周辺施設の基本計画の検討、水泳場の整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	21,000	10,500
3-6	佐倉ふるさと広場における観光拠点形成のための基盤整備検討調査	佐倉市	千葉県佐倉市	印旛沼観光の玄関となっている佐倉市北部において、佐倉ふるさと広場の機能強化を図るため、民間事業者による収益施設の運営や体験ツアー・イベントの開催と合わせて、公園に係る需要調査、施設検討、概略設計及び整備・運営に係るPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	17,000	8,500
3-9	伊豆の国市におけるサイクルツーリズムによる地域活性化のための基盤整備検討調査	伊豆の国市	静岡県伊豆の国市	サイクルツーリズムが加速している静岡県伊豆の国市の狩野川神島地区及び伊豆長岡地域において、サイクリスト向けの新たな滞在拠点を整備することで、長岡地域の観光資源と狩野川の自然資源を結び回遊性の向上を図るため、民間事業者による観光拠点の整備と合わせて、公園の整備やこれに伴って必要なアクセス道路整備等を計画しており、それら施設の整備に係る概略設計や整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	16,800	8,400
3-10	大門公園における防災と賑わい創出のための基盤整備検討調査	岸和田市	大阪府岸和田市	岸和田市域の東部に位置する当地において、地域住民や市内外来訪者の賑わいの場を創出するとともに、災害時における避難地を確保するため、民間事業者によるイベントや収益施設の運営等と合わせて、公園の整備に係る基本計画の検討及びPark-PFI等官民連携による事業手法の導入検討を行う。	16,200	8,100
3-11	王仁公園再整備による地域活性化のための基盤整備検討調査	枚方市	大阪府枚方市	大阪のベッドタウンである枚方市東部地区において、公園施設の再配置により新たにスポーツ施設等を整備するため、民間事業者による新規施設の整備やイベント開催と合わせて、公園に係る基本計画の検討及び整備・運営に係るPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	20,000	10,000
3-15	高千穂鉄道跡地公園化に伴う観光拠点形成のための基盤整備検討調査	高千穂町	宮崎県高千穂町	高千穂峡等の観光資源を有する当地において、廃線となった高千穂鉄道のシンボルであった高千穂鉄橋を活用した新たな観光拠点を形成するため、民間事業者による観光案内所の設置や観光集客イベントの実施等と合わせて、公園、地域交流施設、道路等の整備に係る基本計画、基本設計及びPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	46,800	23,400
2-8	山代地域における広域観光拠点形成のための基盤整備検討調査	加賀市	石川県加賀市	広域観光周遊ルート「昇龍道」のモデルコース上にある山代地域において、「萬松園」を中心とした観光拠点を形成するため、民間事業者による飲食施設の整備や花見宴会などのイベント実施、商店街の建物改修、超小型電動自動車を利用した散策ツアー等と合わせて、公園整備に係る需要予測や測量調査、概略設計、Park-PFI導入可能性検討等を行う。	18,000	9,000
2-10	久屋大通(南エリア)の再生に向けた基盤整備検討調査	名古屋市	愛知県名古屋市	栄地区のシンボル空間である「久屋大通」において、有識者懇談会から提言を受けた「久屋大通のあり方(南エリア部分)」を踏まえ、公園、地下空間、沿道の回遊性を向上し、栄地区の立地を活かした賑わいや憩いの空間を創出するため、関連する民間事業者による商業施設等の開発、複合ビルの建て替え等との調整を行いながら、公園の再整備に係る概略設計、整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	20,000	10,000
2-12	城陽市東部丘陵地における広域観光拠点形成のための基盤整備検討調査	京都府	京都府城陽市	府立木津川運動公園において、その周辺で予定されている新名神高速道路の開通やアウトレットモールの開業との連携による相乗効果を生かして地域の魅力を発信する拠点とするため、民間事業者によるアウトドア施設の改修、フェスタ・イベントの開催、アウトレットモールの建設等と合わせ、公園の整備に係る基本設計、整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	36,000	18,000
2-18	彦根市南部地域における広域的な交流拠点形成のための基盤整備検討調査	彦根市	滋賀県彦根市	彦根市南部地域において、稲部遺跡の歴史公園化とともに地域住民等の交流の拠点を形成するため、民間事業者による宿泊・温泉施設の整備、イベントの実施等と合わせて、公園の施設規模、整備計画の検討等を行う。	16,000	8,000

官民連携基盤整備推進調査費 実施案件一覧（公園関係）

年度-番号	調査名	実施主体	対象地域	概要	実施計画額（千円）	
2-19	水垂運動公園（仮称）整備による交流拠点形成のための基盤整備検討調査	京都市	京都府京都市	京都市南部に位置する当地において、スポーツ施設を核として、民間事業者によるクラブハウスや飲食・物販店舗等の整備及びイベントの開催等と合わせた交流拠点を形成するため、公園の整備に係る基礎調査、基本計画の検討を行う。	16,000	8,000
1-6	長井地区における広域的な観光拠点機能拡充のための基盤整備検討調査	横須賀市	神奈川県横須賀市	三浦半島魅力最大化プロジェクトで観光周遊化を図る拠点として位置付けられている長井海の手公園において、公園隣接地の取得を契機として長井地区の広域的観光拠点機能を拡充するため、民間事業者による宿泊施設やレストラン等の整備、公園施設のリニューアル等に合わせ、公園整備に係る基本計画の策定や概略設計、アクセス道路に係る概略設計等を行う。	24,400	12,200
1-7	赤塚山公園における地域活性化のための基盤整備検討調査	豊川市	愛知県豊川市	東三河振興ビジョンで広域的な観光拠点に位置付けられている総合公園「赤塚山公園」において、開園30周年のリニューアルに向けて、官民連携による地域活性化、交通の要衝を活かした観光振興の強化を図るため、民間事業者によるスポーツ合宿の実施やコミュニティバスの運行等と合わせて、公園施設の再整備に係る基本計画の検討、概略設計、P-PFI導入可能性検討を行う。	32,300	16,150
1-8	五台山地域における広域的な観光拠点形成のための官民連携基盤整備検討調査	高知県	高知県高知市	高知県では、広域観光周遊ルート「スピリチュアルな島～四国遍路～」に位置付けられている五台山地域の観光振興を図る「磨き上げ事業」に取り組んでおり、牧野植物園や竹林寺、五台山公園を中心とした観光拠点を形成するため、民間事業者による宿坊や売店等の設置、イベントの開催等と合わせて、公園施設の再整備に係る需要予測、再整備計画の検討、PPP/PFI導入可能性検討を行う。	20,000	10,000
1-9	指宿市観音崎公園における広域的な観光交流拠点形成のための基盤整備検討調査	指宿市	鹿児島県指宿市	広域観光周遊ルート「温泉アイランド九州」のルート上にある道の駅いぶすきにおいて、広域観光拠点としての更なる機能強化を図るため、民間事業者による外国人向け観光ツアーの企画、デマンド交通や貨客混載の試験運行、出荷者協議会による地元特産品の販売等に合わせ、駐車場等の再整備検討や概略設計、PPP/PFI導入可能性検討を行う。	17,800	8,900
30-15	金田一近隣公園を活用した観光振興及び地域活性化のための基盤整備調査	二戸市	岩手県二戸市	岩手県二戸市の金田一温泉地区において、民間事業者による温泉センターの建て替えや新たな飲食店等集客施設の建設、広域観光商品開発と合わせて、金田一近隣公園の魅力の向上や利便性の向上を図り地域活性化に資するため、公園施設の整備検討及びPPP/PFI導入可能性検討を行う。	20,000	10,000
30-16	官民連携による賑わい創出のための玉川野毛町公園拡張整備検討調査	世田谷区	東京都世田谷区	世田谷区立玉川野毛町公園拡張事業において、官民連携による賑わい創出を図るため、民間事業者による普及啓発、体験学習の場や便益施設の整備、住民参加・住民協働による公園管理・運営体制の構築の取組と連携して、公園整備に係る基本計画策定及び整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討を実施する。	17,620	8,810
30-17	鮎壺公園を活用した観光交流及び下土狩野周辺の活性化のための基盤整備調査	長泉町	静岡県駿東郡長泉町	鮎壺公園及び下土狩野周辺において、富士山が眺望できる鮎壺の滝を活かし、広域的に魅力ある観光交流及び下土狩野周辺の活性化を推進するため、民間事業者による交流施設、商業施設の整備等の取組と合わせて、下土狩野周辺の広場・道路整備の検討、鮎壺公園の概略設計、PPP/PFI導入可能性検討等を行う。	17,000	8,500
30-18	「ピワイチ」促進と連携した県営金亀公園（仮称）彦根総合運動公園整備のための検討調査	滋賀県	滋賀県彦根市	県営金亀公園（仮称）彦根総合運動公園においては、平成36年に開催される国民体育大会等に向けた再整備を契機に、観光を通じた地域の活性化を図るため、彦根城観光や自転車による周遊観光「ピワイチ」の活動等と連携しながら、民間事業者による収益施設整備と合わせて公園整備に係る需要調査、施設整備検討及び公園管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討を行う。	6,000	3,000
30-22	JR塩山駅周辺地区における地域活性化のための基盤整備検討調査	甲州市	山梨県甲州市	甲州市の中心市街地であるJR塩山駅周辺地区の地域活性化を図るため、民間事業者による駅前ホテル建設やバス路線の再編・増便、新規観光ツアー・イベント企画に合わせ、観光情報拠点としての於曾公園の概略設計、PPP/PFI導入可能性検討、アクセス道路の概略設計等を行う。	10,000	5,000
30-23	須崎市における高台整備による地域活性化のための基盤整備検討調査	須崎市	高知県須崎市	須崎市において、高台整備での定住促進や交流人口の増加による地域活性化及び津波防災拠点の形成を図るため、民間事業者による公共公益的施設整備や建設事業者による宅地整備と合わせて、用地造成や公園、道路整備に係る概略設計、PPP/PFI導入可能性検討を行う。	12,000	6,000
29-10	岩山南公園を活用した観光振興及び地域活性化のための基盤整備調査	盛岡市	岩手県盛岡市	民間ノウハウを活用した公民連携事業による岩山南公園の整備にあわせて、動物との触れ合いによる子育て支援事業や障害者自立支援事業等を予定しており、その民間事業者の取組を推進するため、岩山南公園の基本計画の検討及びPPP/PFI導入可能性検討を行う。	20,800	10,400
29-11	一本松公園を活用した観光振興及び地域活性化のための基盤整備調査	宇美町	福岡県宇美町	一本松公園において、豊かな自然環境を活かし、広域的に魅力ある観光地として再整備を図るため、民間事業者による商業施設の整備や地域活性化イベント等の取組と合わせて、一本松公園の基本計画の検討、概略設計、PPP/PFI導入可能性検討等を行う。	5,994	2,997
29-30	東神楽町における地域活性化と防災機能強化のための公園整備検討調査	東神楽町	北海道東神楽町	東神楽町では、既設の大雪霊園と隣接した新墓園整備の計画とあわせて、通常時は観光や交流の拠点として、災害時は高台の避難場所として利用可能な公園整備を検討し、墓園、公園、駐車場のPPP/PFI導入可能性を調査する。	5,000	2,500
28-20	大津市滋賀学区における地域活性化に関する調査	大津市	滋賀県大津市	大津びわこ競輪場跡地において、地域活力の創出と効率的なインフラ運営等を目的とし、地域交流施設のPPP/PFIの導入可能性検討や多目的広場の基盤整備計画の検討を行う。	15,370	7,685
28-21	旧石垣空港跡地における地域活性化のための基盤整備検討調査	石垣市	沖縄県石垣市	旧石垣空港跡地において、土地の円滑な民間活用や防災機能の向上を目的とし、民間の医療施設の開業等と合わせて、土地利用計画や公園、道路整備の概略設計を行う。	18,000	9,000

# 長根公園施設再整備による地域活性化のための基盤整備検討調査

## 地域の特徴等

- 八戸市は、青森県の南東部に位置し、工業をはじめ、農畜産業や水産業等の多種多様な産業が集積する産業都市として、北東北の地域経済を牽引しており、平成29年には、中核都市に移行し、また、近隣7町村とは、八戸圏域連携中枢都市圏を形成している。
- 市の中心市街地にある長根公園内には、体育館のほか、野球場、屋外水泳プール、武道館、相撲場、弓道場、屋内スケートリンク、屋外アイスホッケーリンク及びスポーツ研修センターがあり、市のスポーツ活動の拠点として、また、レクリエーションやイベント活動の場として大きな役割を担っており、年間約25万人に利用されている。
- 一方、竣工から半世紀以上経過した体育館は経年劣化が著しく、耐震性に問題があることから、建て替えが喫緊の課題となっている。

### (1) 社会的背景・状況の変化等(きっかけ)

- ・平成27年12月：八戸市体育館の耐震診断の結果、震度6強以上の地震に対して倒壊または崩壊の危険性があるとの診断
- ・平成31年3月：八戸市体育施設整備に関する基本方針を策定
- ・令和4年11月：八戸市体育館の建て替えに関する基本構想を策定

### (2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- ・プロバスケットボールチームによる3x3のホーム戦、スポーツイベント開催(令和12年度～)
- ・八戸スポーツコミッションによる市内プロスポーツチーム(東北フリースタイル、ヴァンラーレ八戸FC等)との交流イベント及びキッチンカー等による食のイベント開催(令和12年度～)
- ・PPP/PFI事業者による体育館建て替え及び公園内スポーツ施設の管理運営(令和12年度～)

### (3) 基盤整備の必要性(現状の課題等)

- ・体育館は経年劣化が著しく、耐震性に問題があることから、建て替えが必要
- ・既存施設の有効活用・統廃合による適正化を図ることが必要

密接な  
関連性

### (4) 【調査内容】

- ①公園施設(体育館等)の再整備に係る基礎調査、概略検討
- ②公園施設の再整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性調査

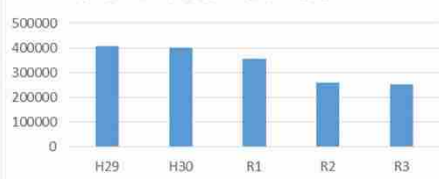
### (5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- ・3x3のホーム戦及び市内プロスポーツチームとの交流イベント等の開催による地域経済の活性化
- ・体育館の建て替えによる利用者数の増加に伴う公園の賑わいの創出

【調査箇所 はちのへ  
青森県八戸市】



長根公園年間利用者数の推移(人)





# 最上川ふるさと総合公園再整備によるフルーツ・ツーリズムの推進のための基盤整備検討調査

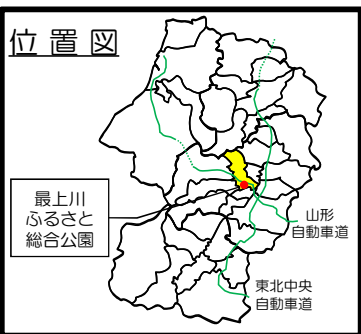
## 地域の特徴等

- 山形県は、果樹の産出額が全国第5位、さくらんぼの生産量は全国の約8割を占める果樹王国である。四季折々の多彩で豊富なフルーツが生産されているというポテンシャルを活かし、消費者に、県内の産地を訪れ、様々な形でフルーツを楽しんでもらう「フルーツ・ツーリズム」を推進していくこととしている。
- 本公園は、東北中央自動車道と山形自動車道が交わる結節点に近い寒河江SAのハイウェイオアシスとして整備された都市公園であり、スマートICに直結することから、観光客の立寄りや県内のフルーツ産地や観光地への周遊がしやすい立地にある。また、本公園周辺には民間宿泊施設等もあり、本県の観光拠点となりうる立地環境にある。

さがえ

【調査箇所：山形県寒河江市】

### 位置図



### (1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）

- ・令和2年3月：本県の豊かな資源を活かした質の高いツーリズムの推進を施策展開の方向性の一つとして位置づけた第4次山形県総合発展計画の策定
- ・令和5年3月 さくらんぼを核とする県産フルーツの情報発信実行計画（最上川ふるさと総合公園の再整備に係る基本構想を含む）の策定

### (2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- ・山形県さくらんぼ&フルーツPR協議会によるイベントの開催（令和5年度～）
- ・PPP/PFI事業者による本公園内への収益施設の整備・運営（令和10年度～）
- ・民間宿泊施設や産直施設との連携によるイベントやツアーの企画・実施（令和10年度～）

### (3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）

- ・フルーツ・ツーリズムの推進に向けて、フルーツを楽しむための魅力的な目的地の充実が必要となる。
- ・最上川ふるさと総合公園は、フルーツを通じた誘客や県内周遊の拠点としてのポテンシャルが高いが、フルーツを楽しむことができる魅力的な機能が不足している。

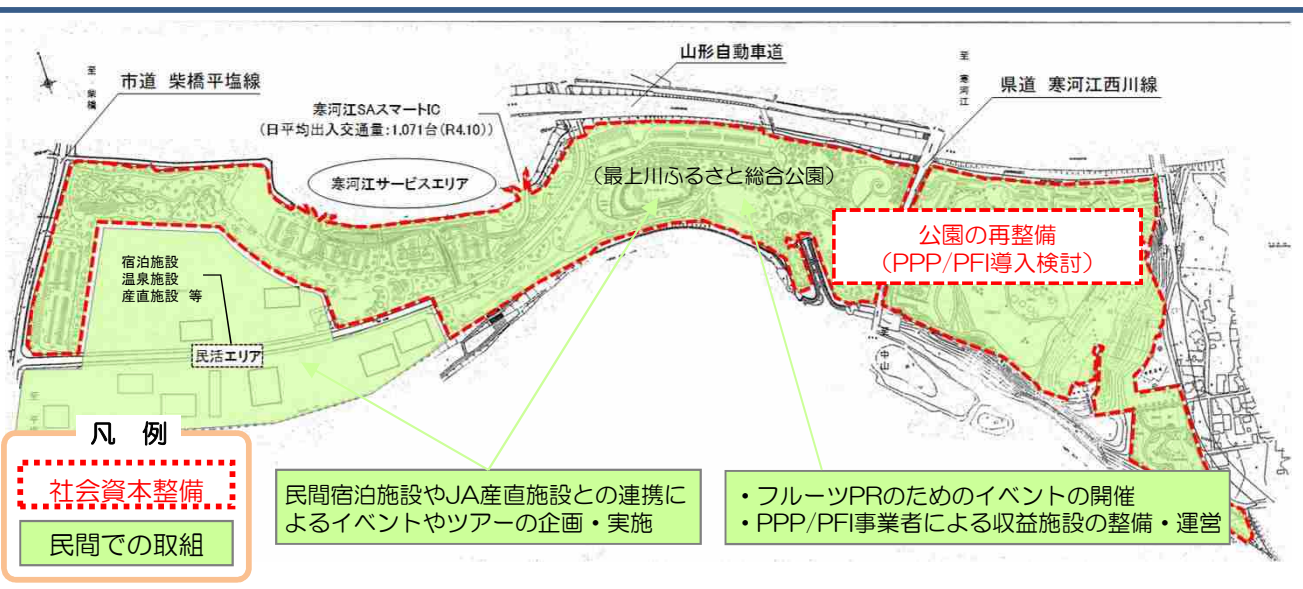
密接な  
関連性

### (4) 【調査内容】

- ①最上川ふるさと総合公園の再整備に係る概略設計
- ②最上川ふるさと総合公園の整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性調査

### (5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- ・民間収益施設との一体的な整備により一層の公園の魅力向上と賑わいの創出が期待される。
- ・本公園を拠点とした県内のフルーツ産地や観光地等への周遊の促進により、県産フルーツの消費拡大や、交流・関係人口の創出による地域の活性化が見込める。

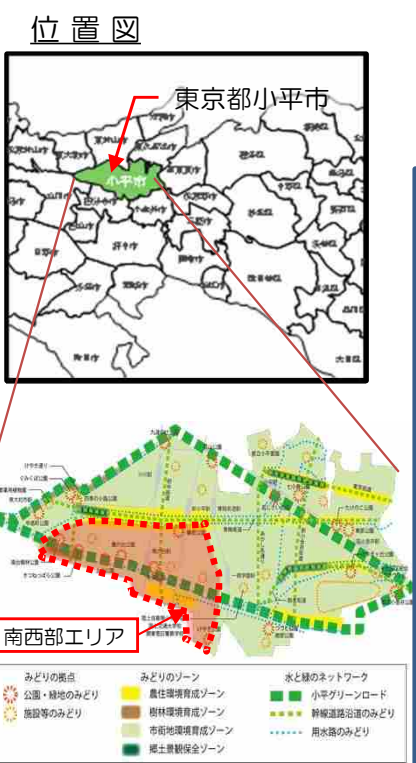


# 南西部エリアにおける公園整備による地域活性化のための基盤整備検討調査

## 地域の特徴等

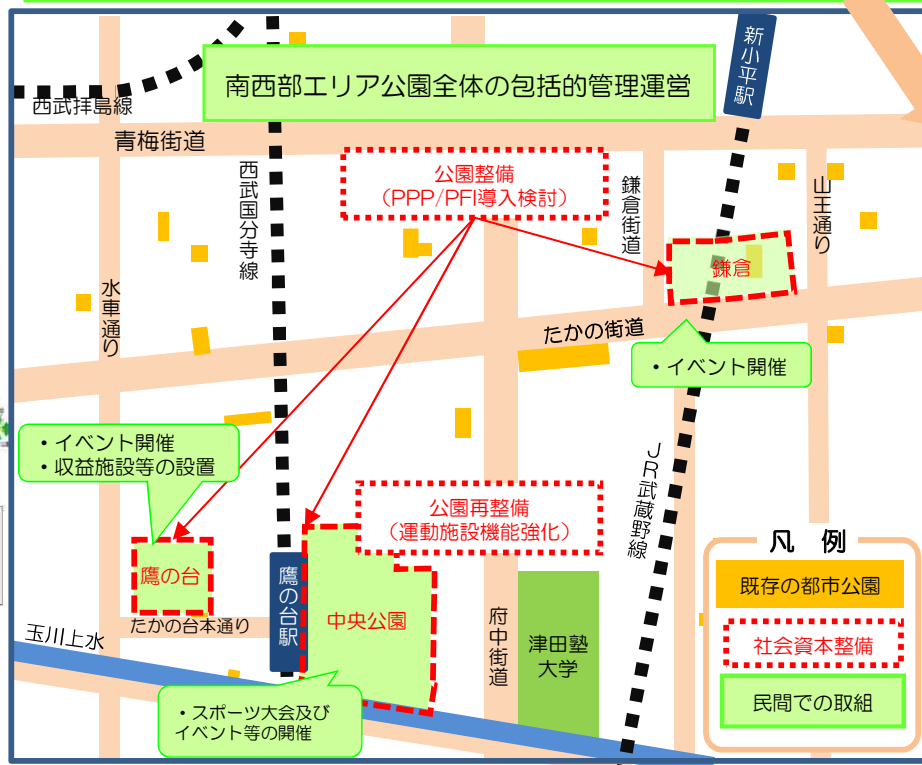
- 本市では、新たな都市計画公園として、鷹の台公園及び鎌倉公園の整備に向けた検討を進めている。これまで、鷹の台公園については、「鷹の台公園のあり方調査検討業務委託報告書」を公表し、鎌倉公園については、「鎌倉公園整備基本計画」を策定した。
- 両公園ともに、鉄道駅から近く、交通利便性に優れている。また、同地域には、総合体育館、グラウンド等を有する市の中央公園があり、規模の大きな公園が集積する地域として、各公園の役割分担や機能連携・強化が求められている。
- 地域には、津田塾大学や武蔵野美術大学等の特徴ある多くの教育施設、緑豊かな玉川上水などの地域資源に恵まれ、多様な人の往来があるほか、活発な市民活動が見られる地域特性を有する。また、鷹の台公園に面したたかの台本通り（商店街）では、無電柱化事業を進めており、防災機能の強化や快適な歩行空間の確保等が期待できる。

【調査箇所：東京都小平市】



(1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）

令和2年7月：都市計画公園・緑地の整備方針改定  
 令和3年3月：鎌倉公園整備基本計画策定  
 令和4年11月：サウンディング型市場調査（鎌倉）  
 令和5年1月：鷹の台公園のあり方調査検討業務委託報告書公表  
 令和5年3月～4月：サウンディング型市場調査（鷹の台）



(2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- ・スポーツ事業者によるスポーツイベント及び大会の開催（令和5年度～）
- ・地域のNPO法人による公園整備予定地を活用したイベント（プレーパーク）の開催（令和5年度～）
- ・（一社）こだいら観光まちづくり協会等との連携によるイベントの開催（令和9年度～）
- ・PPP/PFI事業者による収益施設の設置及び南西部エリア内公園全体の包括的な管理運営（令和8年度～）

密接な関連性

(3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）

- ・活発な地域活動やノウハウをもった民間事業者と連携し、新たな地域の拠点としての公園をつくる必要がある。
- ・様々な地域資源を活かしつつ、新たな都市計画公園や既存公園を含め、公園を核とした地域のまちづくりを行う必要がある。

(4) 【調査内容】

- ①鷹の台、鎌倉公園整備に係る概略設計
- ②中央公園における運動施設（グラウンド等）機能強化に係る概略検討
- ③公園の管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討

(5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- ・民間活力を導入した収益施設との一体整備することにより魅力向上と利用者の増加、民間活動の活性化。
- ・地域活動と連携した公園を核とした拠点形成により地域が活性化。

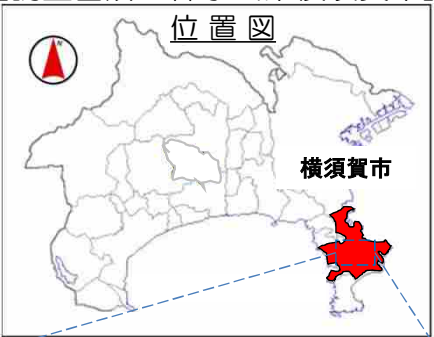


# 大矢部弾庫跡地を活用した地域活性化のための基盤整備検討調査

## 地域の特徴等

- 衣笠地区は本市の中で「鎌倉幕府の礎を築いた三浦一族の歴史を伝える」エリアに位置づけられており、横須賀の自然や歴史等の資源を活かした魅力空間の形成を目指している。大矢部弾庫跡地は衣笠地区に位置し、昭和14年に旧軍施設となった後、戦後には海上自衛隊の施設となっていたが、自衛隊の整理・統合計画により現在は利用がされていない跡地となっている。
- 同敷地は、衣笠地区の中心に位置し、貴重な自然資源とともに三浦一族にゆかりのやぐらなどの歴史資源を有することから、横須賀に点在する歴史、文化の見どころや自然豊かなスポットをつなぎ周遊を促す拠点となることが期待されている。

よこすか  
【調査箇所：神奈川県横須賀市】



### (1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）

- ・平成15年 自衛隊の整理・統合計画により、対象地の機能が横須賀弾薬整備補給所比与宇弾庫（田浦港町）に移転
- ・令和4年3月 横須賀再興プラン2022-2025（横須賀市実施計画）策定  
最重点施策として大矢部弾庫跡地活用事業を位置付け
- ・令和5年3月 大矢部弾庫跡地の取得方針の決定

### (2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- ・民間事業者による温浴・キャンプ施設等の滞在施設の整備・管理運営（令和6年度～）
- ・民間事業者によるカフェ・イベントスペースを備えた複合型施設の設置（令和6年度～）
- ・地元歴史団体による新規歴史ガイドツアー・イベントの企画（令和8年度～）
- ・バス会社によるバス路線の見直し（令和8年度～）

密接な  
関連性

### (3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）

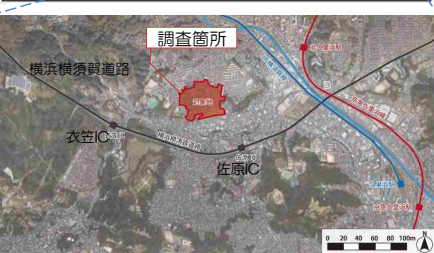
- ・民間事業者の活動と連携し、自然や歴史などの地域資源を生かした交流拠点の整備により、地域活性化を図る必要がある。
- ・公園にアクセスする道路が狭く住宅地となっているため、渋滞対策及び安全管理が必要

### (4) 【調査内容】

- ① 対象地の基礎調査
- ② 公園の概略設計（園路、広場、駐車場等の公園施設の整備に係る概略設計、事業費検討等）
- ③ 公園の管理運営に関わるPPP/PFI導入可能性調査

### (5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- ・都市公園の整備に民間活力やノウハウを導入することで事業効果や民間の投資効果を最大化
- ・魅力的な施設整備により周遊が促され、地域の活性化につながる。



# 大内新田地区における賑わい創出のための基盤整備検討調査

## 地域の特徴等

- 大内新田地区は、当初、病院建設を予定していたが、平成27年に病院の方針転換により当該地での建設は中止になった。
- 平成30年より地元連合自治会と、当該地の土地利用方針について継続的に協議を重ね、「公園」、「多目的広場」、「生涯学習交流館」を導入し、これらの機能を相互に連携させることにより地域の活性化を図ることで合意している。
- 当該地は国道1号BPや主要地方道静岡清水線に隣接していることから交通アクセスがよく、さらに3.4haと広い敷地を有しているため、地域の核となり、賑わい創出ができるポテンシャルを有している。

しずおか

【調査箇所：静岡県静岡市】

位置図



清水区  
大内新田



### (1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）

- 平成30年5月 連合自治会より土地活用の要望書提出
  - ・その後、継続的に意見交換会を実施
- 令和4年7月 土地利用方針のパブリックコメント
  - ・民間活力導入による魅力創出への期待
  - ・交通アクセスのよい公園への期待
- 令和4年7月 PPP/PFIプラットフォーム
  - ・進出に前向きな民間事業者を確認

### (2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- ・PPP/PFI事業者による公園・多目的広場・生涯学習交流館の管理運営（令和10年度～）
- ・民間事業者によるイベントの実施（サッカー大会、マルシェ等）（令和10年度～）
- ・スポーツ団体による福祉スポーツの認知向上イベントの開催（令和10年度～）
- ・地元自治会を中心とした多世代間交流イベントの実施（令和9年度～）
- ・観光地域づくり法人（DMO）などによる観光総合窓口の運営や、イベント等の実施（令和9年度～）

密接な  
関連性

### (3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）

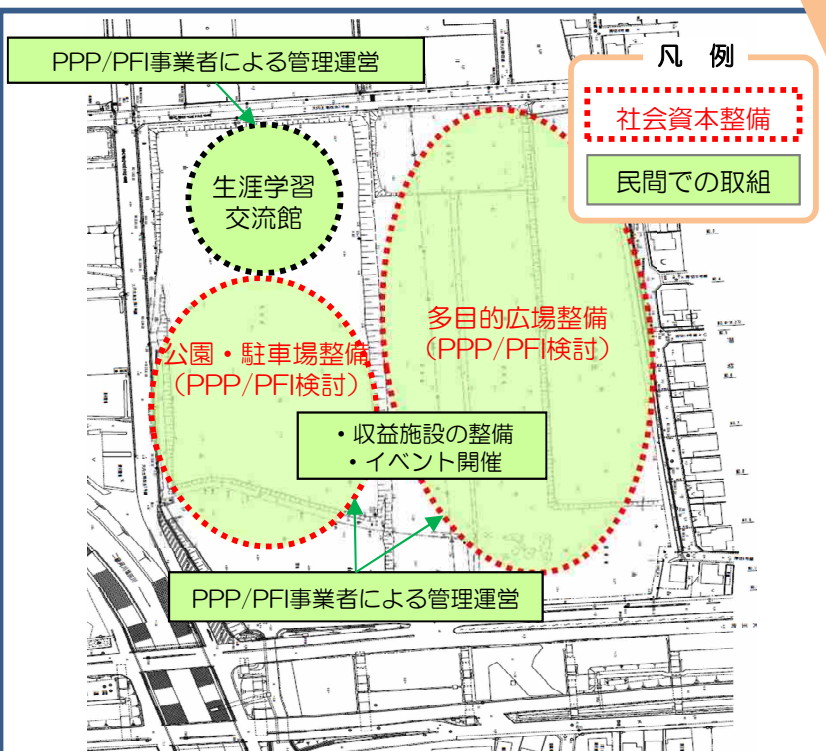
- ・人口減少等により清水区の賑わいが低下しており、広域から人を呼び込むことで交流人口の増加が必要
- ・イベント等が開催可能な広場整備が必要
- ・市民からの需要に応える駐車場が必要

### (4) 【調査内容】

- ①公園・駐車場整備に関する基本計画の策定
- ②多目的広場整備に関する地質調査、概略設計
- ③公園・駐車場・多目的広場の管理運営に係るPPP/PFI導入可能性調査

### (5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- ・広域から人が集まり、賑わい創出・交流人口の増加
- ・清水区の核となる多世代交流拠点の形成
- ・公園、多目的広場の維持管理費の低減、賃借料等による収入増





# 富田山公園再整備による地域活性化のための基盤整備検討調査

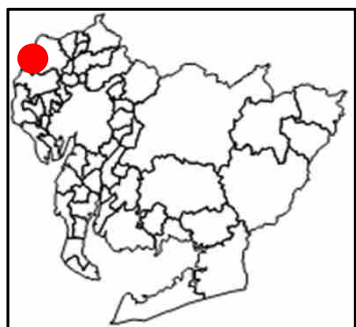
## 地域の特徴等

- 本市の西南に位置する 富田山公園は、かつて、宿泊施設（H28解体）と屋外プール（R4事業廃止）があり、地域のレクリエーション拠点として、活気ある公園であった。
- しかしながら、老朽化による施設の廃止に伴い、公園利用者数が減少しており、かつてのにぎわいを取り戻すため、官民連携による富田山公園の再整備の取組みについて、令和2年6月に改定した緑の基本計画に位置づけた。
- また、木曽川沿いの水辺空間を活かした観光エリアを創出し、公園の魅力向上、利用者増を図り、地域を活性化させる必要がある。

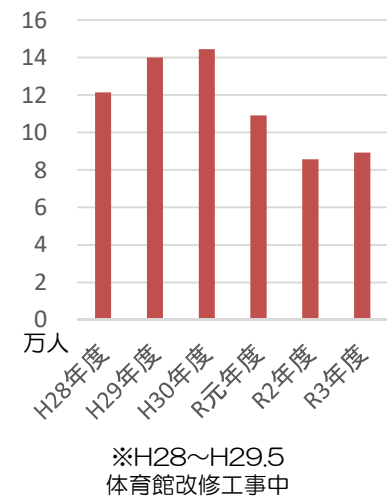
いちのみや

【調査箇所：愛知県一宮市】

位置図



富田山公園利用者数



### (1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）

- ・ 令和 2年6月 一宮市都市計画マスタープラン策定 緑の基本計画改定
- ・ 令和 4年3月 設置管理許可により、エリアの一部に、グランピング施設等を開設
- ・ 令和 5年3月 プール事業を廃止（予定）

### (2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- ・ PPP/PFI事業者による収益施設の建設（令和8年度～）
- ・ PPP/PFI事業者による河川の水辺空間を活かした観光イベント開催（令和8年度～）
- ・ 民間事業者が公園と連携したイベントを開催（令和5年度～）

密接な  
関連性

### (3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）

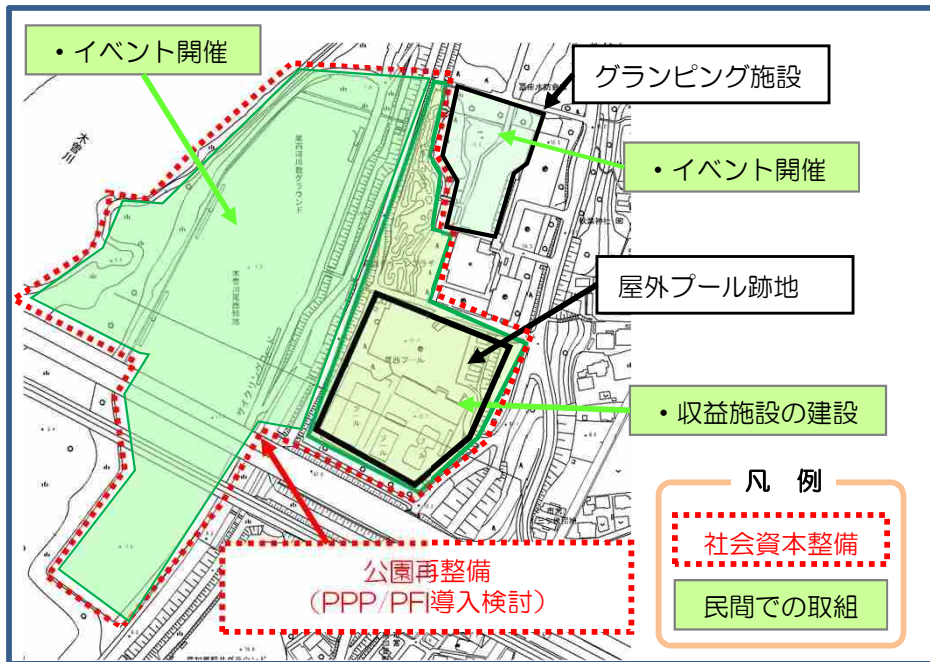
- ・ 屋外プール跡地の利活用については、民間活力を導入し、新たな賑わいを創出する公園として一体的な整備が必要
- ・ 民間の活動を活性化させるための河川区域での利用方針の検討が必要

### (4) 【調査内容】

- ①公園再整備に係る基礎調査及び概略検討
- ②公園再整備及び管理運営に係るPPP/PFI導入可能性調査

### (5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- ・ 民間活力を導入した施設との一体整備により公園の魅力向上と利用者の増加、民間活動が活性化
- ・ 賑わいの創出及び交流人口増加による地域活性化



# 竹取公園再整備による地域活性化拠点形成のための基盤整備検討調査

## 地域の特徴等

○広陵町は奈良盆地の中西部に位置し、大阪市内へは40分と交通アクセスに恵まれ、古墳群が残るのどかな田園風景や閑静な住宅街が広がる町である。日本一の生産量を誇る靴下製造業や、「夏秋なす」や若手のイチゴ農家による「イチゴ」などの農業を地場産業としている。

○ベッドタウンとして成長する一方で、都市サービスの享受は町外へ行く住民が多く、町内の拠点地区の形成・充実などが求められている。こうした中で、奈良県とまちづくりに係る取組について包括協定を締結し、「広陵町竹取公園周辺地区まちづくり基本計画」を策定した。「竹取公園」を核とした賑わいのある拠点地区形成に向けて、民間活力導入による公園魅力向上や地域資源や地場産業を活用した新たな賑わい創出に取組むことが求められている。

○都市部からのアクセスに恵まれ、年間100万人の来園者を誇る県営馬見丘陵公園に隣接する「竹取公園」のポテンシャルを活かし、町内外からヒト・モノ・カネを引き込む、新たな賑わい拠点整備が期待されている。

こつりょう  
【調査箇所：奈良県広陵町】

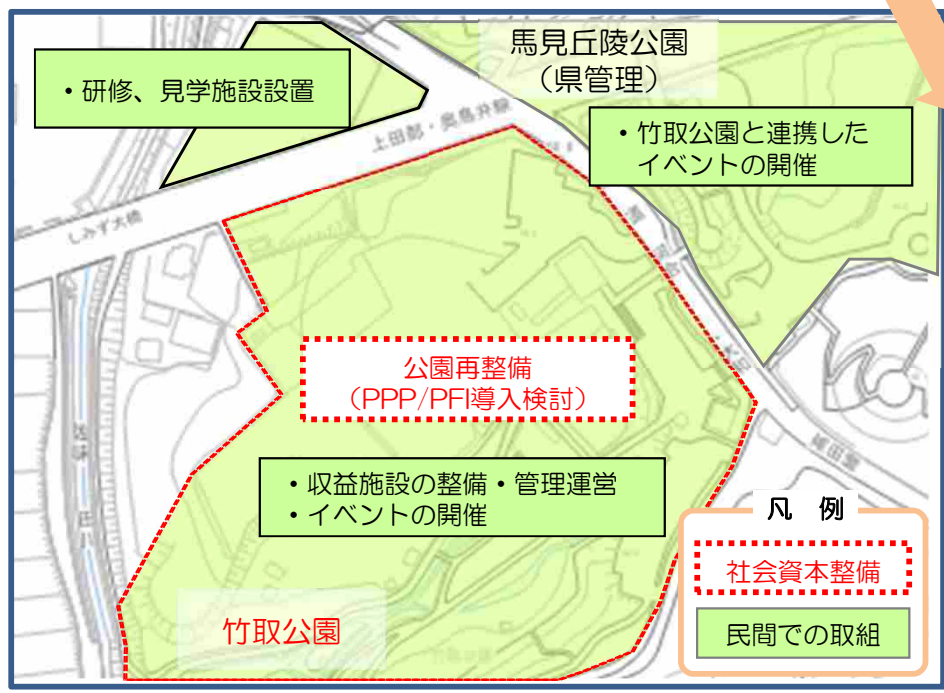


### (1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）

- 平成29年2月 奈良県と包括協定締結
- 令和元年10月 竹取公園に対するサウンディング調査実施
- 令和3年3月 「広陵町都市計画マスタープラン」を改訂
- 令和3年7月 「広陵町竹取公園周辺地区まちづくり基本計画」公表

### (2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- 竹取公園におけるPark-PFI事業者による収益施設の整備及び公園の再整備・管理運営（令和9年度～）
- （一社）広陵町産業総合支援機構による県営馬見丘陵公園において竹取公園と連携した農産物販売イベント等の開催（令和5年度～）
- 広陵町商工会による集客イベントの開催（令和5年度～）
- 靴下製造会社による地場産業の研修・見学施設等の設置（令和9年度～）



### (3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）

- 開園25年が経過し、遊具や園路等の老朽化が進み、公園施設の改修整備が必要
- 公園内に飲食できるスペースや休息できるスペースが少なく、公園のリニューアルが必要

### (4) 【調査内容】

- 公園再整備（広場等）に係る概略設計
- 公園の整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討

### (5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- 民間活力を導入した収益施設との一体整備することにより公園の魅力向上と利用者の増加、民間活動の活性化
- 公園拡張及び公園施設の改修コスト削減

密接な  
関連性



# 三笠公園再整備による地域活性化のための基盤整備検討調査

## 地域の特徴等

- 三笠公園が位置する横須賀市東地域では、「YOKOSUKAビジョン2030」で掲げる「音楽・スポーツ・エンターテインメント都市」の実現に向け、音楽やダンス、アートやアーバンスポーツの力を生かしたまちづくりが進められており、三笠公園に隣接する商業施設（ポートマーケット）の官民連携によるリニューアルや近接する猿島公園でのアートイベントの実施、うみかぜ公園でのBMXフリースタイルジャパンカップ開催などが実現している。
- 三笠公園は、横須賀中央駅から徒歩15分の中心市街地に位置しており、世界3大記念艦の記念艦三笠があることでも有名な、「日本の都市公園100選」「日本の歴史公園100選」に選ばれた本市を代表する公園である。また、市の観光振興施策である「ルートミュージアム」のサテライト施設にも位置付けられている。一方で、大規模なリニューアル工事から30年以上が経過し、設備の老朽化や魅力の低下などにより公園全体が最大限有効活用されていない。三笠公園周辺の地域活性化をより推進するためには、三笠公園を再整備し、音楽やダンス、アートやアーバンスポーツを生かした機能を導入することで、地域活性化の取組と相乗効果を発揮することが求められる。

よこすか

【調査箇所：神奈川県横須賀市】

位置図



横須賀市

### (1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）

- 令和4年3月：「横須賀再興プラン2022-2025」策定  
三笠公園をルートミュージアムのサテライト施設として位置付け。新たな魅力の創造に向け、リニューアルの検討を進めることを明示。
- 令和5年3月：令和5年度中に三笠公園リニューアル基本計画を作成することを市議会にて報告。

### (2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- 企画・開発事業者によるカフェ・レストランの整備（令和6年度～）
- 企画・開発事業者によるイベント（アーバンスポーツとの連携イベントや音楽イベント等）の企画・運営（令和8年度～）
- 物販企業によるアーバンスポーツショップの整備（令和6年度～）
- スポーツ団体等によるアーバンスポーツ教室の実施、アーバンスポーツの大会の開催・誘致（令和8年度～）
- バス事業者によるルートミュージアムの周遊新設を含めたバス路線の見直しを予定（令和8年度～）
- PPP/PFI事業者による公園の整備・管理運営（令和7年度～）

密接な  
関連性

### (3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）

- 公園施設の老朽化が進行しており、再整備が必要。
- 民間事業者の活動と連携し、交流拠点としてのポテンシャルの最大化に向け、賑わい創出や多様な利用の促進に資する機能の充実や見直しを行う必要。
- 公園の集客力の向上に向け、不足している駐車場の整備が必要

### (4) 【調査内容】

- 公園整備に係る基礎調査、需要調査及び効果検討
- 公園の基本計画検討（園路、広場、駐車場等の公園施設の整備に係る概略設計、事業費検討）
- 公園の整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討

### (5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- 都市公園の整備に民間ノウハウを導入することで事業効果を最大化
- 公園整備と一体的に整備することで民間の投資効果を最大化



調査箇所

■施設状況



凡例

- 社会資本整備
- 民間での取組

- アーバンスポーツショップの整備
- カフェ・レストランの整備

公園再整備 (PPP/PFI導入検討)

- アーバンスポーツ教室の実施
- イベント（アーバンスポーツの大会、音楽フェス、アートイベント等）の企画・運営

バス路線の見直し

出典：国土地理院地図を加工して作成



# 「シーガーデン」での公園整備によるにぎわい創出のための基盤整備検討調査

## 地域の特徴等

- 吉田町は、静岡県中部の沿岸部に位置し、津波防災とにぎわいの創出に一体的に取り組む「シーガーデンシティ構想」を推進している。その中で町東側の川尻地区では、1000年に1度の津波を防ぐ防潮堤が完成したことで防災対策に一定のめどが立ち、今後はにぎわいの創出に軸足を移していく方針である。
- 本構想の推進計画において、防潮堤横約3.1haの都市公園区域を「レジャーとスポーツゾーン」として整備していくことを規定している。また、第5次吉田町総合計画及び緑の基本計画でも計画的な公園整備を目標としており、町民からの要望の多いストリートスポーツ場や遊具、アウトドア体験施設等を備えた公園整備を進めることで、沿岸域での地域活性化と新たなにぎわいの創出が期待される場所である。
- このような状況を踏まえ、公園整備に係る各種調査に加え、効率的な管理運営を実現していくため、Park-PFI等官民連携手法の導入に向けた調査・検討を行う。

よしだ  
【調査箇所：静岡県吉田町】  
位置図



### (1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）

平成14年度	吉田町緑の基本計画を策定。同計画内で当該エリアを総合公園として整備する方針を明記。
平成30年度	地域住民や国・県で構成するシーガーデンシティ構想推進委員会が発足
令和元年度	委員会にてゾーニング等整備方針を決定
令和2年度	静岡県の「ふじのくに」のフロンティアを拓く取組の整備推進拠点に認定
令和3年度	川尻防潮堤の整備完了

### (2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- Park-PFI事業者による収益施設・公園施設の管理運営（令和9年度～）
- 地元タクシー事業者（平和タクシー・東海タクシー）による、公共交通を補完するためのオンデマンド型乗合タクシーの新規運行（令和8年度～）
- 吉田町商工会によるアウトドアイベントやマルシェ等の各種イベント開催（令和9年度～）
- BOOMBOOMBASHIによる音楽フェス「頂」の開催エリア拡大（令和9年度～）

凡例

- 社会資本整備
- 民間での取組

• PPP/PFI事業者による収益施設の整備・管理  
• オンデマンド型タクシーの乗降箇所検討

• アウトドア・マルシェなどのイベント開催  
• 音楽フェスの開催

### (3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）

- 富士山静岡空港や東名吉田ICからの近接立地を活かし、広域交流人口の増加と地域のにぎわい創出を図るための拠点整備が必要。
- フェスやマルシェ等のイベント開催やアウトドア体験・ストリートスポーツを行うための広場や施設が不足しており、整備が必要。

### (4) 【調査内容】

- ① 公園整備に係る整備効果検討、需要予測、概略設計
- ② 公園施設の管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討

### (5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- 将来的な管理運営等に係るコストの削減
- 民間ノウハウを活かした魅力的な公園整備
- 各種イベント開催による広域的な交流増加、地域活性化

密接な  
関連性



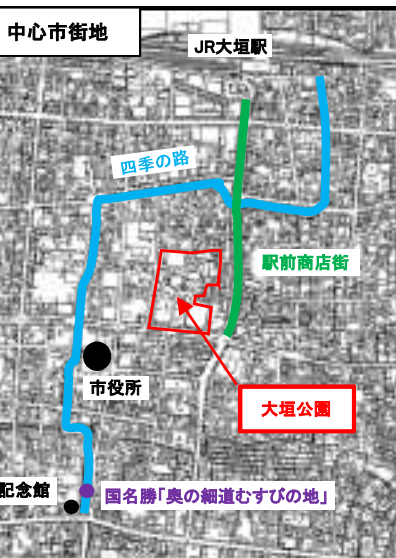
# 大垣公園における地域活性化拠点形成のための基盤整備検討調査

## 地域の特徴等

- 大垣公園は、JR大垣駅から国名勝「奥の細道むすびの地」を結ぶ回遊ルート「四季の路(みち)」の中心部に位置した都市公園で、大垣藩十万石を象徴する大垣城が公園内に存在し、中心市街地において歴史を感じ、緑に癒される市民の憩いの場となっている。
- 大垣公園内にある大垣城ホール（運動施設）は、約1,200人収容可能な観覧席を備えた大ホールを有し、年間約10万人が利用するほど、市内外の住民にとってイベントやスポーツに親しむ施設であるが、建設後約70年が経過しており、老朽化に加え耐震性が課題となっている。
- 官民連携により大垣公園をリニューアルすることで、中心市街地に賑わいと憩いの空間を創出し、ウォークブル・シティの拠点とすることが求められている。

おおがきし

【調査箇所：岐阜県大垣市  
位置図】



### (1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）

- ・平成28年3月「中部圏広域地方計画」策定
- ・平成29年3月「大垣市公共施設等総合管理計画」を策定
- ・平成30年4月「大垣市立地適正化計画」策定
- ・令和 3年3月「大垣市中心市街地活性化基本計画」策定
- ・令和 3年8月「大垣城ホール・市民会館あり方検討プロジェクトチーム」を設置

### (2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- ・大垣市商店街振興組合連合会が新たな生活様式に適應する分散回遊型のイベント「まちなかスクエアガーデン（MSG）」を開催（令和4年度～）
- ・郭町東西街区市街地再開発準備組合による市街地再開発事業（令和7年度～）
- ・大垣市体育連盟が各種スポーツイベントの企画・実施（令和9年度～）
- ・PPP/PFI事業者による公園の整備・管理運営、大垣城ホールの改築・管理運営及び飲食・物販店舗等の整備（令和9年度～）



### (3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）

- ・大垣城ホールが老朽化し、利用者の安全確保のため改修が必要。
- ・社会情勢の変化に対応し、大垣城ホールの改築を核として、市民ニーズに合った魅力ある公園整備が必要。
- ・中心市街地にある地区公園の強みを活かした地域活性化を図るため、官民連携により賑わい空間の創出が必要。

密接な  
関連性

### (4) 【調査内容】

- ①公園施設（園路、広場、遊戯施設等）の再整備、大垣城ホールの改築に係る基礎データ収集、需要調査、基本計画策定、概略設計等
- ②公園の整備・管理運営及び大垣城ホールの改築・管理運営に係るPPP/PFI等導入可能性検討

### (5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- ・既存公園のリニューアルに民間活力を導入することで、大垣公園のさらなる魅力向上と利用者の増加が見込める。
- ・利用者増加により公園一帯に賑わいが生まれ、中心市街地の消費拡大が促進し、地域経済の活性化が見込める。

# 大津湖岸なぎさ公園におけるにぎわい拠点形成に向けた基盤整備検討調査

## 地域の特徴等

- 大津湖岸なぎさ公園周辺は、平安京遷都によって京都の東の外港となり、園城寺の門前町、東海道の宿場町として繁栄し、江戸時代には「大津百町」と呼ばれ、政治、経済、観光のうえで重要な役割を担ってきた地域である。現在も国道や鉄道、大津港などが集積する交通の要衝であり、また大津市内の主要な文化遺産をめぐる起点に位置している。
- 大津湖岸なぎさ公園は、琵琶湖の一部を埋立造成して整備された公園であるが、完成から20年が経過しており、公園施設の更新による市街地と一体となった魅力ある空間づくりが求められている。

おおつし  
【調査箇所：滋賀県大津市】

位置図



上空から撮影した  
大津湖岸なぎさ公園の眺望



### (1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）

- ・ 令和2年9月 市役所内の横断的な組織として「なぎさ公園周辺魅力向上プロジェクト」を設置
- ・ 令和3年3月 滋賀県において、（仮称）新・琵琶湖文化館基本計画の策定
- ・ 令和3年11月 びわ湖浜大津駅周辺市有施設の利活用の検討に係る調査業務の実施

### (2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- ・ Park-PFI制度による便益施設の設置（令和6年度～）
- ・ PFI方式による（仮称）新・琵琶湖文化館の整備（令和9年度～）
- ・ （公財）大津市公園緑地協会等による湖上イベントの拡大実施（令和9年度～）

密接な  
関連性

### (3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）

- ・ 民間施設の整備とともに、周辺施設の再整備を行うなど、本公園が持つポテンシャルを最大化する必要がある。
- ・ 施設の老朽化により、公園の魅力低下に繋がることが懸念される。

### (4) 【調査内容】

- ①公園に導入する施設機能の検討
- ②公園施設等（園路・親水護岸・ランニングルート等）の配置検討、概略設計、概算事業費検討

### (5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- ・ 民間施設の整備と周辺施設の再整備を一体的に実施することにより、さらなる魅力向上が図られ、公園利用者数の増加に繋がる。
- ・ 水辺を一体的に整備することにより、民間事業者の活動が活発になり、にぎわい創出に繋がる。



#### 凡例

社会資本整備

民間での取組



# 西京極総合運動公園スポーツ施設改修による広域交流拠点形成のための基盤整備検討調査

## 地域の特徴等

- 西京極総合運動公園は、京都府内随一の広域・基幹的施設として、陸上競技、野球、水泳等の各種大規模大会が開催されている。
- 施設の老朽化が進んでおり、利用者の安心・安全を確保する観点から早期の改修が求められている。
- 「京都市都市計画マスタープラン」において、西京極地域は、「住と工が共存できる環境の維持・充実を図る地域」として位置付けられており、都市への新たな魅力となるスポーツ・レクリエーション等の拠点を充実させることで、市民の健康と交流を育む場と考えられる。そのため、広域的なニーズに対応した都市機能の公園施設を整備すると共に、公園を拠点とした当該地域の活性化が求められている。

**(1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）**

- R3.7 東京オリンピックの開催により国内でのスポーツの機運が高まっている。
- R3.8 京都市の行財政改革において、PFI、Park-PFI等多様な公民連携手法、資金調達手法を用いた効果的・効率的な事業推進する方針を公表
- R3.9 京都市都市計画マスタープランの見直し

**(2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定**

- スポーツ事業者による野球場等の運動施設を活用したイベント開催及び公園内への新たな運動施設の整備（令和7年度～）
- 施設運営事業者による公園内へ飲食施設等の収益施設の整備（令和7年度～）
- PPP/PFI事業者によるプール・野球場の改修、公園全体の管理運営（令和9年度～）

密接な  
関連性

きょうとひぎょうとし  
【調査箇所：京都府京都市】



**(3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）**

- プール、野球場の老朽化の進行により、各種公式戦、大規模大会の会場としての機能維持への対応が必要
- 公園全体の運営・維持管理費の削減が必要
- スポーツ施設利用者及び地域住民に対し、利便性向上への期待
- 公園内の更なる有効活用による賑わい・収益性の向上

**(4) 【調査内容】**

- 公園整備（プール、野球場改修）に係る現況調査、需要調査
- 公園整備（プール、野球場改修）に係る概略検討
- 公園整備（プール、野球場改修）及び公園全体の管理運営に係るPPP/PFI導入可能性調査

**(5) 民間の活動と一体的に整備する効果**

- 市内外の住民の活動やスポーツ団体等の活動の幅を広げることに寄与
- 本公園内や周辺地域への民間の投資や取り組みの更なる活性化

# 岸和田市内における公園再整備による地域活性化のための基盤整備検討調査

## 地域の特徴等

- 岸和田市は、大阪府泉南地域に位置し、17世紀より城下町として栄え、山や海などの豊かな自然環境に恵まれて多様な産業と都市基盤整備により発展してきたが、近年少子高齢化の進行とともに地域コミュニティの維持が困難となっている。
- 年間約16万人以上が来園する中央公園や、多くの観光客が訪れる千亀利公園（史跡岸和田城址）をはじめ、地域の活動拠点となる公園などの既存ストックの活用により、地域活性化と民間事業者による賑わいの創出が期待される。
- これらの状況を踏まえ、PPP/PFIの導入による民間投資の誘発や、公園の再整備による地域コミュニティの形成について調査、検討するものである。

きしわだ  
【調査箇所：大阪府岸和田市】



**(1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）**

- ・平成29年度 都市公園法の改正により、民間事業者による公募設置管理制度（P-PFI）が創設
- ・平成29年度 岸和田市みどりの基本計画において地域の実情に合った公園整備の検討等を位置づけ
- ・令和2年8月 「新型コロナ危機を契機としたまちづくりの方向性（論点整理）」（国土交通省）によりオープンスペースの今後のあり方と施策の方向性が示された

**(2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定**

- ・岸和田商工会議所、岸和田市観光振興協会、一般社団法人KIX泉州ツーリズムビューローによるキッチンカーの出店や各種地域活性化に関するイベントを実施（令和8年度～）
- ・Park-PFI事業者による収益施設の整備運営（令和8年度～）

**(3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）**

- ・公園の利活用に対するニーズに対応した施設整備
- ・公園の施設改修整備に要する予算や人員の確保
- ・地域住民の交流や活動の拠点となる公園整備
- ・観光や賑わいの創出に資するPPP/PFI等による民間事業者との連携

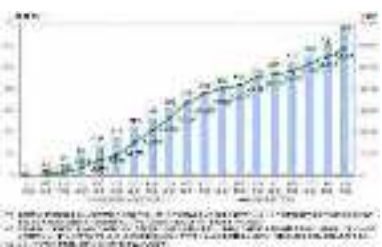
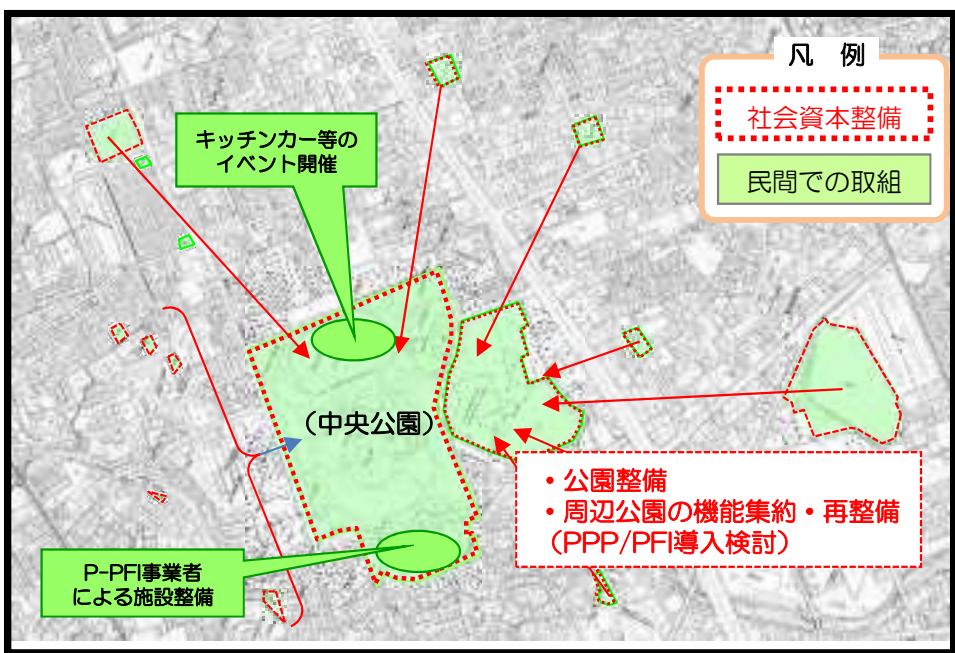
密接な  
関連性

**(4) 【調査内容】**

- ①公園の再整備に係る概略設計及び周辺公園施設の機能集約に係る整備効果の検討等
- ②公園の整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討

**(5) 民間の活動と一体的に整備する効果**

- ・将来的なコスト縮減と効率的な行政運営に資する公園の管理の実施
- ・民間のノウハウを生かした公園の賑わいを創出による公園の魅力向上と利用者の増加
- ・合わせて、地域雇用の増加、公園利活用を行う民間の活動の活性化



PFIの事業件数の推移  
（出典：内閣府）



# 広島市都心部における「平和の都心回廊」を形成するための基盤整備検討調査

## 地域の特徴等

- 平和大通りは、平和記念公園の南側に位置する延長約4km、標準幅員100mの幹線道路
- 戦後、県内の市町村からの樹木の提供や、国内外からの寄付により数多くの樹木が植えられ、緑豊かな空間を形成
- ゴールデンウィーク中に行われるイベントの中でも最大級の動員を誇る「フラワーフェスティバル」や広島冬の風物詩の「ドリミネーション」などの会場としても使用
- 都心の回遊を促す「平和の都心回廊」の形成に向けて、Park-PFI制度の活用などにより、魅力と価値のある空間の創出を目指している。

ひろしまけんひろしまし

【調査箇所：広島県広島市】

位置図



### (1) 社会的背景・状況の変化等 (きっかけ)

- ・原爆ドーム、平和記念公園以外の観光資源を十分に活用できていない
- ・都心を活性化するため、「ひろしま都心活性化プラン」を策定（平成29年3月）
- ・平和大通りの将来像を実現するため、「平和大通りの利活用のための基本計画」を策定（令和4年3月）

### (2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- ・ヒルトンがホテルを開業（令和4年度～）
- ・エヌ・ティ・ティ都市開発(株)等による旧広島市民球場跡地整備（令和4年度～）
- ・エヌ・ティ・ティ都市開発(株)等による中央公園広場エリアへのにぎわい施設整備（令和6年度～）
- ・Park-PFI事業者による広島城三の丸にぎわい施設整備（令和6年度～）
- ・Park-PFI事業者による平和大通りの公園・収益施設整備（令和8年度～）

密接な  
関連性

### (3) 基盤整備の必要性 (現状の課題等)

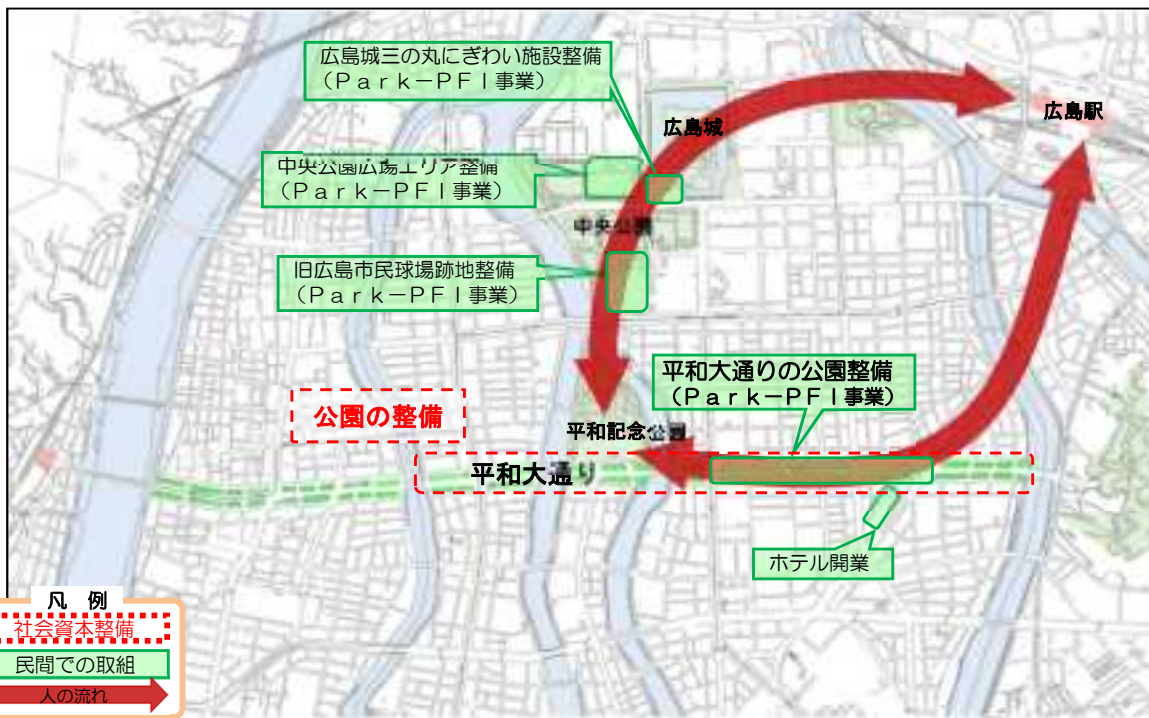
- 緑地や園路の段差等による通行不良箇所の解消。
- 夜間の通行時の安心安全の確保。
- 都心の回遊を促すための魅力ある空間の創出。

### (4) 【調査内容】

- ①平和大通りの公園整備に係る基礎調査
- ②平和大通りの公園整備に係る概略設計

### (5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- ・隣接する平和記念公園から公園への観光客の流入が増加
- ・公園利用者の滞在時間の延長、それに伴う観光消費額の増加



凡例

社会資本整備

民間での取組

人の流れ

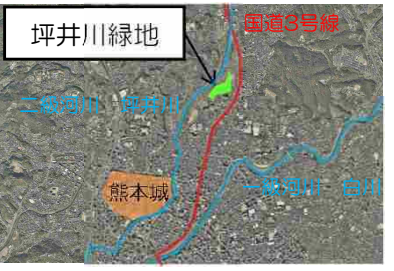
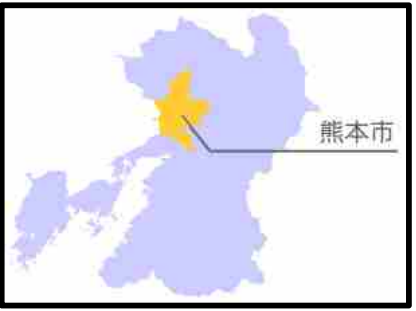
# 坪井川緑地における地域活性化のための基盤整備検討調査

## 地域の特徴等

- 坪井川緑地は、交通アクセスが良い熊本市中心部近傍の遊水地に開設している敷地面積97,000m<sup>2</sup>の都市計画公園である。
- 同公園は、市内で唯一の超大型複合遊具「ひごっこジャングル」や、夜間の利用が可能な有料運動施設を備えており、日常の散策等からスポーツまで幅広く利用されている。
- 熊本市第七次総合計画及び緑の基本計画等では、公園の利活用促進を目標としているところであり、近年、民間事業者からも公園利活用の要望が高まっている。また、市民からスケートボード場などのニュースポーツ施設の整備等の要望も上がっている。
- このような状況の中で、坪井川緑地の民間事業者による利活用や、地域活力の創出と効率的な整備・管理運営などを実現していくため、同公園の再整備・拡張等に係る各種調査が必要となっている。

くもと  
【調査箇所：熊本県熊本市】

位置図



- (1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）
- ・令和2年 3月 熊本市第七次総合計画策定
  - ・令和2年12月 NPO法人坪井川遊水地の会設立
  - ・令和3年 3月 熊本市緑の基本計画 改定
  - ・令和3年 4月 熊本地域公共交通計画 改定

- (2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定
- ・NPO法人によるイベント等の開催（令和10年度～）
  - ・公園の来訪に係る公共交通機関（鉄道・路線バス）の利用促進に資する広報等への取組（令和6年度～）
  - ・PPP/PFI事業者による公園施設の再整備・管理運営等（令和6年度～）

密接な  
関連性



- (3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）
- ・公園内のイベント等の開催にあたり必要な駐車場等の施設が不足している。
  - ・既存施設の老朽化による、サービス水準の低下や、管理運営経費の増大等が生じており、施設の再整備とともに、管理運営等に係るコスト縮減が求められている。
  - ・ニュースポーツ施設の整備等の市民のニーズへの対応が必要。

- (4) 【調査内容】
- ①公園（運動施設、駐車場等）の再整備・拡張等に係る基礎データの収集
  - ②公園の再整備・拡張等に係る概略設計
  - ③公園の再整備・拡張等の効果の検討
  - ④公園の再整備・拡張等及び管理運営に係るPPP/PFIの導入可能性検討

- (5) 民間の活動と一体的に整備する効果
- ・公共交通機関等との連携による公園の利活用促進、地域活力の創出
  - ・公園の整備及び管理運営等に係るコスト縮減
  - ・市民のニーズに沿った施設整備の実現

凡例

- 社会資本整備
- 民間での取組



# 西部緑地公園の再整備による更なる賑わい創出のための基盤整備検討調査

## 地域の特徴等

- 西部緑地公園は、北陸自動車道・国道8号及び金沢外環状道路海側幹線に近接した県下全域からアクセスが良い金沢市西部に「スポーツとイベントの拠点」として整備され、長らく県民に親しまれてきた。
- 園内にある県立野球場及び産業展示館は築後45年以上が経過し、老朽化・狭隘化が進行しているほか、段階的に公園を拡張してきた結果、施設・駐車場の配置が複雑になり、動線も複雑化するという課題も生じている。

【調査箇所 かなざわし  
：石川県金沢市】

位置図



### (1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）

- ・ R3年9月 県立野球場及び産業展示館の老朽化に伴う建替えを契機に、公園全体の再整備の検討に着手
- ・ R4年8月 西部緑地公園再整備構想検討委員会の設置

### (2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- ・ 地元スポーツ団体と連携したスポーツ施設への集客機能の付加
- ・ 地域経済団体等による産業見本市やコンベンションなど大規模なイベント、屋外イベントの開催
- ・ PPP/PFI事業者による公園の管理運営等

密接な  
関連性

主な県有施設の来場者数（R1(コロナ前)）

1位：兼六園	約280万人
2位：金沢城公園	約230万人
3位：西部緑地公園	約150万人
4位：木場潟公園	約77万人
...	

西部緑地公園は、石川県を代表する賑わいの拠点



### (3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）

- ・ 段階的に公園を拡張してきた結果、園内動線が複雑化し、園内混雑の要因になっている
- ・ 緑地・広場が敷地の端に分散している
- ・ 県立野球場は、狭隘な上、老朽化が進行しているほか、現在の規格に合致していない

### (4) 【調査内容】

- ① 西部緑地公園の再整備に係る基礎調査
- ② 西部緑地公園の再整備に係る概略設計等
- ③ 新野球場整備に係る概略設計等
- ④ 西部緑地公園の整備・管理運営に係る PPP/PFI導入可能性検討調査

### (5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- ・ 公園の魅力が向上し、県内外から多くの人々が訪れる更なる賑わいの拠点形成が図られる



# 坂出緩衝緑地再整備による地域活性化のための基盤整備検討調査

## 地域の特徴等

- 坂出緩衝緑地は、北側に位置する番の州臨海工業団地の開発に伴い、地域住民の健康を守り、生活環境の保全を目的とする環境対策と、新しい市街地整備を目指して整備された都市公園である。
- 近接している本四高速道路の坂出北インターチェンジが令和6年度にフルインター化が予定されており、当緑地は、高速交通ネットワークの強化による交通量の増加が見込まれる地域にあることから、民間投資の誘発効果が期待される。
- 中心市街地にある広大なオープンスペースということで、にぎわい創出のための交流拠点として期待されている。

【調査箇所：香川県坂出市】

さかいでし

位置図



### (1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）

- ・平成29年度 坂出北インターチェンジフルインター化の事業化（令和6年度開通予定）
- ・平成29年度 都市公園法の改正により、民間事業者による公算設置管理制度（P-PFI）が創設
- ・令和3年度 坂出市まち・ひと・しごと創生総合戦略に坂出緩衝緑地をにぎわい創出を目的とした空間として整備することを位置づけ。
- ・「坂出駅周辺再整備基本構想」において緩衝緑地の再整備としてまちづくりコンセプトに基づく再編構想の提案有り。

### (2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- ・一般社団法人によるキッチンカー出店（令和9年度～）
- ・NPO法人が開催する子育て支援イベント（令和9年度～）
- ・民間事業者による各種ガーデンセミナー・木の実アート展の開催（令和9年度～）
- ・PPP/PFI事業者による飲食店等便益施設の整備・運営（令和9年度～）
- ・PPP/PFI事業者による公園整備・管理（令和9年度～）

密接な  
関連性

### (3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）

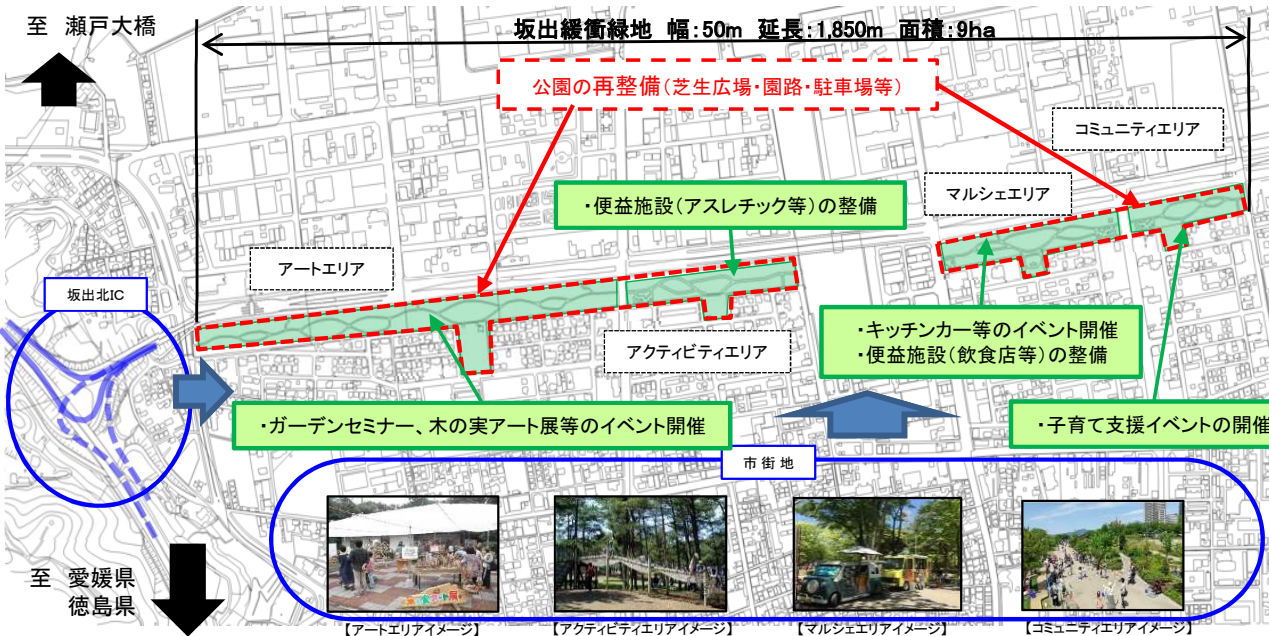
- ・中心市街地にあり、交通量の多い地域に位置しているにもかかわらず、樹木がうっそうとした茂みとなっており、公園としての認知度が低く、有効利用されていない。
- ・地域活性化の拠点として、市民だけでなく、坂出北インターチェンジのフルインター化を活かして、広域圏の来園者を誘致するため、官民連携により、魅力ある公園として整備する必要がある。

### (4) 【調査内容】

- ①坂出緩衝緑地再整備に係る基礎調査
- ②坂出緩衝緑地再整備に係る基本計画等の検討
- ③坂出緩衝緑地再整備に係る概略設計等
- ④坂出緩衝緑地の整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討

### (5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- ・既存公園のリニューアルに民間活力を導入することで、坂出緩衝緑地のさらなる魅力向上と利用者の増加が見込める。





# 西公園を活用した観光振興及び地域活性化のための基盤整備検討調査

## 地域の特徴等

- 山形市は、山形県東南部に位置し、山形県の県庁所在地であり、中核市に指定されている。
- また、平成31年に福島市・山形市間が全線開通した東北中央自動車道の山形PAは、トイレのみで物販施設等がない。
- 山形PAに隣接する西公園は、平成17年に開園し、園内には、テニスコート8面、屋内多目的コート(テニスコート4面相当)、大型複合遊具、じゃぶじゃぶ池、いも煮広場、足湯、水車の小川、キャンプ場、パークセンターなど多様な施設があり、年間を通して利用できる公園として幅広い年齢層に利用されている。
- 山形PAと西公園を連携して活用することによって、道路利用者や地域住民の活用が増え、活性化が期待される。

やまがたし  
【調査箇所：山形県山形市】  
位置図



**(1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）**

- ・ R2年10月 西公園の民間活力導入による再整備  
山形PA第2駐車場の整備方針を決定
- ・ R3年1月 西公園への民間施設導入にかかるサウンディング  
結果を公表

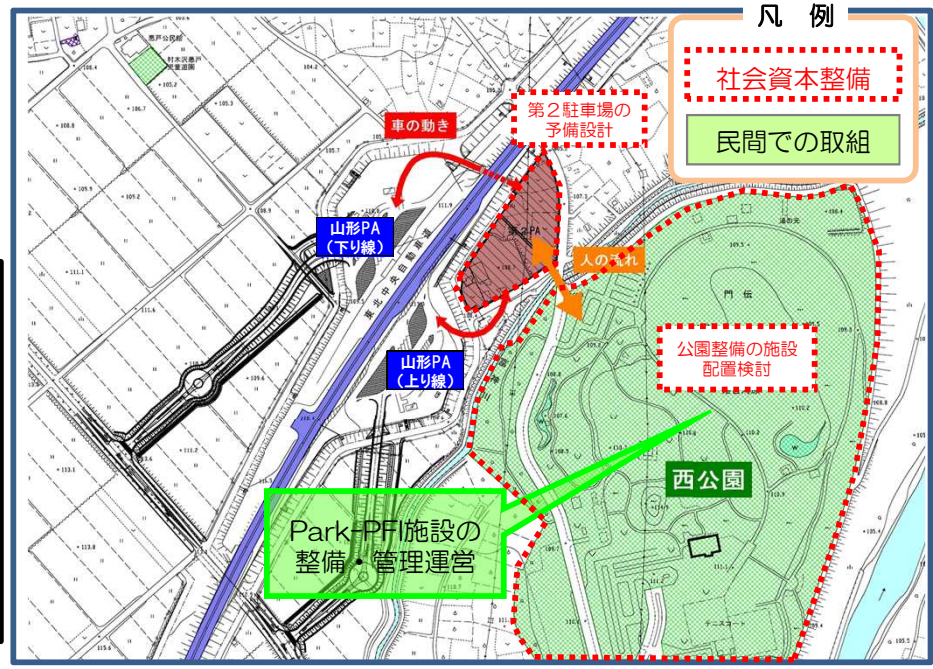
**(2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定**

- ・ PPP/PFI事業者による公園・PA利用者のための収益施設の整備・管理運営、及び公園の再整備・管理運営(令和5年度予定)

密接な  
関連性

**(3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）**

- ・ 山形PAから西公園内に直接アクセスできるようにすることで、高速道路利用者も西公園の施設を利用できるようにすることが必要
- ・ 園内に公園の利用者が増加するような魅力的な機能が不足



**(4) 【調査内容】**

- ①公園に係る施設配置検討及び山形PA利活用検討(整備方針検討、整備必要性整理、歩道経路検討等)、第2駐車場予備設計
- ②公園内収益施設の整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討

**(5) 民間の活動と一体的に整備する効果**

- ・ 西公園を活用し、高速道路利用者や地域住民のニーズに合った機能を提供することによる、交流人口の拡大や地域の活性化

# 敷島公園水泳場の建替えによる地域活性化のための基盤整備調査

## 地域の特徴等

- 敷島公園は、利根川の左岸、前橋市の中心市街地より3kmの位置にあり、園内には洪水を防ぐために植栽された3,000本の松林や、県内最高峰の運動施設(陸上競技場、野球場、水泳場、サッカーラグビー場等)を有している。
- 水泳場は、平成8年度に完成し、水泳連盟公認で県内唯一の屋内50mプールと屋外飛込プール、25mの屋外プールを有しているが、バリアフリー化されておらず、また一部のプールが冬期に屋外利用できないため、利用者数が伸び悩み、利用料金収入も横ばいの状態が続いている。
- 水泳場は、令和11年度に開催予定の国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会の会場となる予定であるが、経年劣化が著しく、また、水泳連盟の公認基準を満たしていないため、建替が喫緊の課題となっている。

ぐんまけんまえはしし  
【調査箇所：群馬県前橋市】

位置図



**(1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）**

- ・経年劣化が著しく、全国レベルの大会を開催するための公認基準を満たしていないため、令和2年10月に現地での建替え、屋内2層の方針を示した
- ・令和11年度開催予定の国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会の会場となる予定

**(2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定**

- ・国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会水泳競技の会場となる（令和11年度開催予定）
- ・PFI事業者や指定管理者等が施設を活用した教室、イベントや便益施設の設置による来園者サービスの実施を意向(令和9年度～)
- ・PPP/PFI事業者による水泳場の整備・管理運営



凡例

- 社会資本整備
- 民間での取組

・国民スポーツ大会等の開催  
・教室、イベントの実施  
・便益施設の設置

・水泳場の建替え（PPP/PFI導入検討）  
・周辺施設（駐車場、道路横断構造物、水路切り回し）

現在 → 整備後

50m 飛込兼 25m

**(3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）**

- ・経年劣化が著しく、国民スポーツ大会の会場基準を満たしていない
- ・屋外の冬期使用休止により、利用者伸び悩む。完全屋内型にすることで利用者増加を図る必要がある

密接な関連性

**(4) 【調査内容】**

- ①水泳場及び関連する周辺施設の基本計画の検討
- ②水泳場整備・運営に係るPPP/PFIの導入検討

**(5) 民間の活動と一体的に整備する効果**

- ・水泳場の建替えにより、利用者が増加し、利用料金収入の増加が見込まれる
- ・国民スポーツ大会、イベント等への集客により経済消費の拡大が期待される



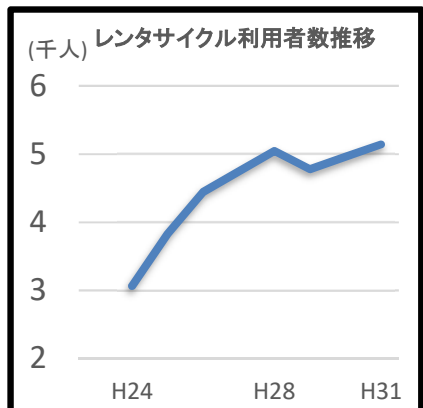
# 佐倉ふるさと広場における広域観光拠点形成のための基盤整備検討調査

## 地域の特徴等

- 佐倉市は千葉県北西部に位置し、日本遺産の認定を受け、広域関東周遊ルート「【東京圏大回廊】自然大回廊（太平洋）コース」に位置づけられた歴史的資源の佐倉城跡（日本百名城）や旧堀田邸（重要文化財）等が知られている。
- 佐倉ふるさと広場は、これまでも印旛沼周辺地域観光の玄関としての役割を担ってきたが、サイクルツーリズムや水辺のアクティビティ等の新たな観光スタイルの拠点としての役割も期待されてきている。

ちばけんさくらし  
【調査箇所：千葉県佐倉市】

位置図

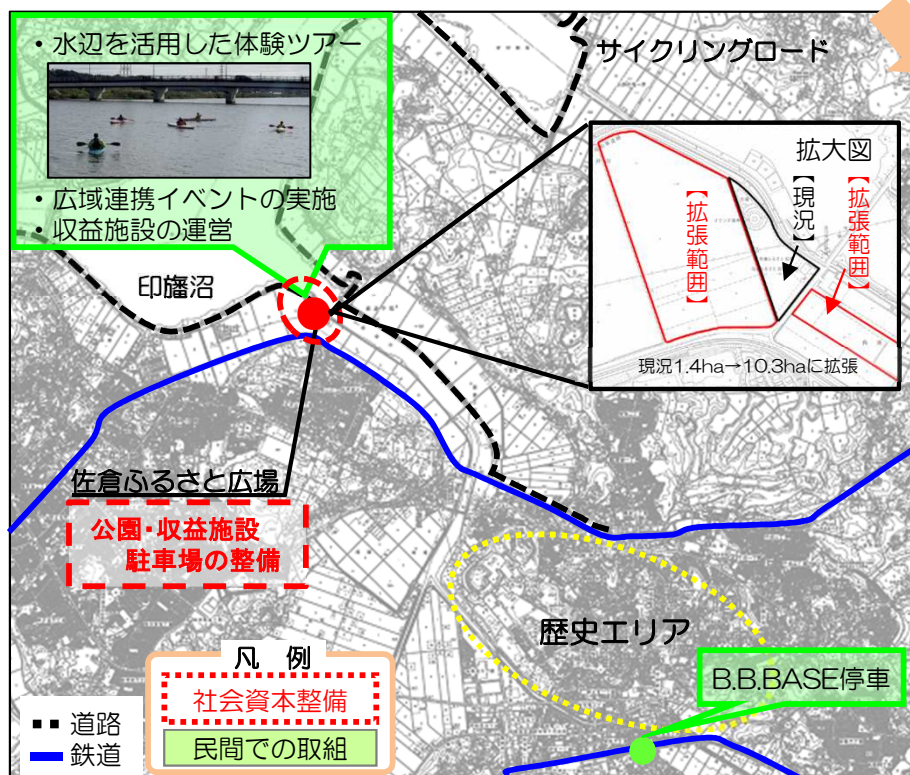


### (1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）

- ・ 令和2年4月 「佐倉市観光グランドデザイン」を施行  
公園周辺を「観光Wコア構想」の拠点として位置付け
- ・ 令和2年10月 水辺を活用した体験ツアーの実証事業を実施

### (2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- ・ (公社) 佐倉市観光協会による水辺を活用した体験ツアーの本格実施 (令和3年度～)
- ・ JR東日本がB.B.BASEを佐倉駅に停車 (令和2年度～)
- ・ 地域連携団体による水辺で繋がる地域間での広域連携イベントの実施 (令和4年度～)
- ・ PPP/PFI事業者による収益施設の運営 (令和7年度～)



### (3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）

- ・ 観光イベント等の開催にあたって駐車場が不足。
- ・ 観光案内機能が貧弱。
- ・ サイクリングやカヤック利用者のための基盤整備が必要。

### (4) 【調査内容】

- ① 公園の拡張、収益施設・駐車場の整備に係る需要調査、施設の検討、概略設計
- ② 公園の整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討

### (5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- ・ 観光客数や観光消費額の増加による地域経済の向上
- ・ 当該地域を核とした市内観光拠点のネットワーク化（「観光Wコア構想」の実現）

密接な  
関連性



# 伊豆の国市におけるサイクルーツリズムによる地域活性化のための基盤整備調査

## 地域の特徴等

○伊豆の国市は、伊豆長岡温泉などの歴史ある観光資源を擁する一方、隣市での東京リトルバイク自転車競技の開催を契機としたサイクルーツリズムが加速している地域である。近年では、e-bike（電動バイク）の普及などによりサイクリストの数はさらに増加傾向にある一方で、サイクリスト向けの滞在拠点が不足していることから、サイクリストの「通過点」から脱却できないという課題を抱えている。

○そこで、伊豆長岡地域及び狩野川神島地区の都市公園において官民連携による新たな滞在拠点（賑わい拠点）を整備し、伊豆長岡地域の温泉・観光資源と狩野川の自然資源を結び回遊性の向上させることで、通過型から滞在・周遊型観光への転換を実現し、サイクルーツリズムによる地域活性化を図ろうとする機運が高まっている。

いすのくに  
【調査箇所：静岡県伊豆の国市】  
位置図



### (1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）

- 東京リトルバイク開催を契機としたサイクルーツリズム加速、Jof禍を経たアウトドア需要の拡大等の社会情勢の変化
- かわまちづくり計画策定（令和2年1月）
- 観光地エリア景観計画策定（令和2年3月）
- 伊豆長岡温泉エリアの未来ビジョン策定（令和3年3月）

### (2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- 鉄道会社による温泉駅再開発
- 伊豆長岡温泉ミライ会議による空き旅館等を活用した観光拠点整備
- 自転車事業者によるレンタル事業

密接な  
関連性

凡例

- 狩野川
- 半島横断軸
- 半島縦断軸
- 自転車交流拠点

伊豆長岡駅

温泉景観

伊豆の国市

田京駅

伊豆のへそ MERIDA X BASE

自然景観

【PPP/PFI事業による公園整備】  
伊豆長岡温泉地域(源氏山公園)  
公園施設、法面对策

温泉駅再整備事業  
観光拠点整備事業  
自転車以外等事業

【PPP/PFI事業による公園整備】  
狩野川神島地域  
公園施設、アクセス道路

社会資本整備  
民間での取組

自転車以外事業・賑わい事業

温泉場のE-bike以外  
温泉場のE-bike周遊  
源氏山公園のE-bike周遊  
狩野川サイクリングロード

### (3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）

- サイクルーツリズム加速、Jof禍を経たアウトドア需要の拡大等による滞在拠点整備の不足、民間活力の導入に向けた支援が必要
- 伊豆長岡温泉の玄関口となる主要道路沿いの県道拡幅に伴う都市公園整備、及び約20mの斜面の法面保護が必要
- 県道拡幅による低未利用地の発生、バス停待合所、WCが撤去となるため病院前の生活利便施設・環境整備が必要
- 狩野川の多様な堤防利用者に向けた滞在拠点の整備が必要

### (4) 【調査内容】

- ①広域観光拠点の形成に向けた公園施設整備に係る観光需要調査
- ②官民連携による民間収益機能設置に必要な施設の検討
- ③①②の結果を基に公園施設、法面对策、アクセス道路等の概略設計
- ④公園の整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討

### (5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- 民間収益施設と一体整備することによる公園全体の魅力向上
- 民間が公園整備、管理運営することで民間の活発な投資が誘導でき、地域活性化に繋がる。

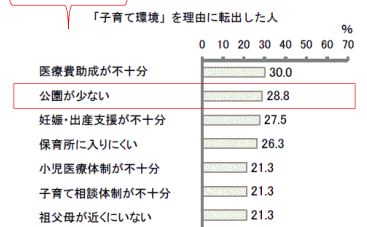
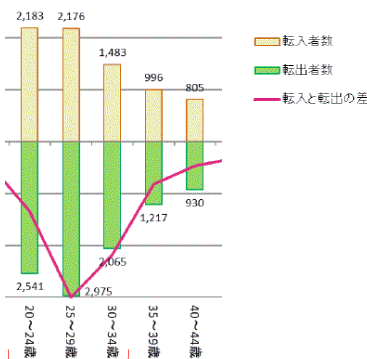


# 大門公園における防災と賑わい創出のための基盤整備検討調査

## 地域の特徴等

- 大門公園は、岸和田市域の東部に位置し、主要幹線道路岸和田牛滝山貝塚線とJR阪和線との結節点に接する都市計画公園である。
- 岸和田市では、計画地のうち約1.7haを所有し、令和7年度末の開園（予定）を目指し、官民連携による賑わい創出や住民参加、協働による防災活動拠点の活用方策について検討を開始したところである。
- 調査地区は、市街地内における幹線道路からの乗り入れや、JR久米田駅からの交通アクセスの利便性を活かし、官民連携による賑わいの創出により、多世代におけるスポーツ等を通じた健康増進や交流、観光振興への取組みを期待するものである。

おおさかふきしわだし  
【調査箇所：大阪府岸和田市】



(出典) 岸和田市総合戦略より

### (1) 社会的背景・状況の変化等 (きっかけ)

- ・ H29年度 都市公園法の改正により、民間事業者による公募設置管理制度 (P-PFI) が創設
- ・ H29年度 岸和田市みどりの基本計画において大門公園の整備を位置づけ
- ・ R2年度 官民連携による公園整備に向けたサウンディング型市場調査を実施

### (2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- ・ P-PFI事業者等による公園施設、収益施設の整備、管理運営 (R5年度公募予定)
- ・ 岸和田市公園緑化協会による健康づくりイベントの開催 (令和8年度~)
- ・ 岸和田商工会議所、岸和田市観光振興協会との連携による交流イベントの開催 (令和7年度~)
- ・ 地元町会等の防災訓練等の活動拠点及び避難地として活用

密接な  
関連性

### (3) 基盤整備の必要性 (現状の課題等)

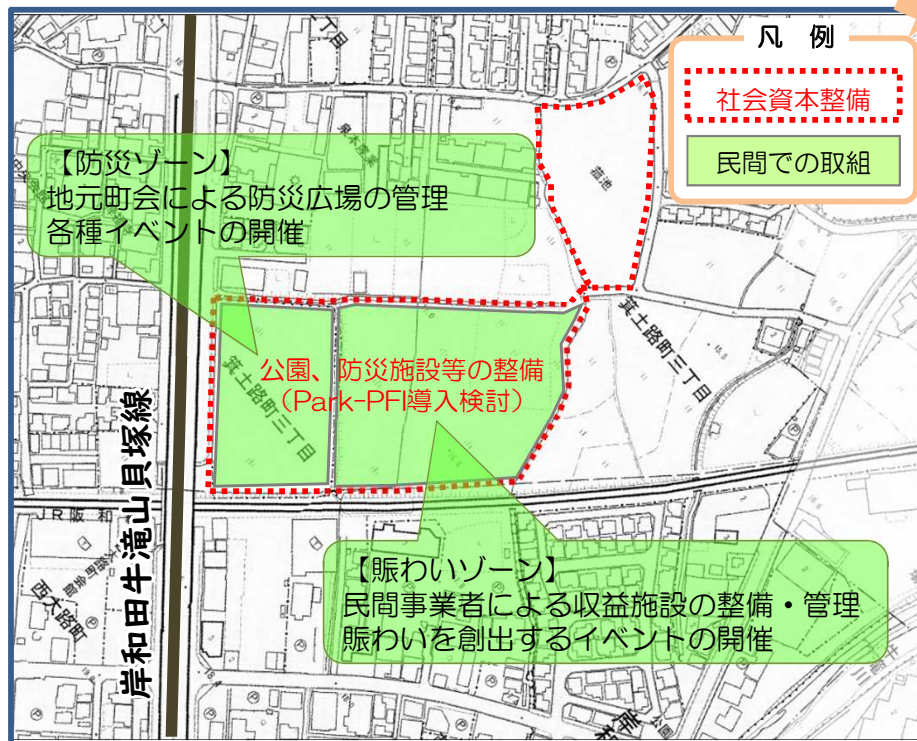
- ・ 地域住民や市内外の来訪者の賑わいの場となる公園が不足し、また、子育て世代における市外への転出理由の大きな要因となっているため、民間事業者と連携した公園整備により地域活性化を図る必要がある。
- ・ 計画地周辺に災害時における避難場所がない

### (4) 【調査内容】

- ・ 公園基本計画 (公園、防災施設等の整備に係る需要予測、整備効果、概略設計等) の検討
- ・ Park-PFI等官民連携による事業手法の導入検討 (事業方針の選定等)

### (5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- ・ 民間のノウハウを活かした公園の賑わいを創出
- ・ 観光等産業施策との連携による広域的な交流や発展
- ・ 地域住民、民間事業者との連携により減災に寄与





# 王仁公園再整備による地域活性化のための基盤整備検討調査

## 地域の特徴等

○枚方市は大阪と京都の間に位置し古くは京街道 枚方宿として栄え、高度経済成長期には宅地が急拡大し大きく発展している。

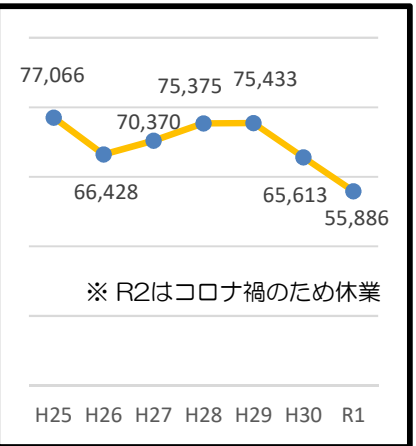
○枚方市の総合公園「王仁公園」は、本市の東部に位置し、JR学研都市線 藤阪駅や国道1号バイパス（第二京阪道路）枚方学研ICからのアクセスにも優れ、市内唯一の「プールのある運動公園」として広く市民に親しまれている。

○本市では、「豊かで誇りある枚方」へと成長させ、「選ばれるまち」となるため、魅力ある都市基盤整備として官民連携により再整備を目指す。

おおさかひらかたし  
【調査箇所：大阪府枚方市】



王仁公園プールの来場者推移



### (1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）

- ・H28年3月 枚方市みどりの基本計画 策定
- ・H29年3月 枚方市都市計画マスタープランに「スポーツ活動や健康づくり活動の活性化を図る拠点」として位置づけ
- ・R2年2月 市政運営方針「魅力あられる公園のあり方、民間活力の活用を含めた基本方針」を策定する
- ・R2年3月 官民連携による公園再整備に向けた協議開始

### (2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- ・PPP/PFI事業者による新たな公園施設等の設置・使用（令和6年以降予定）
- ・民間事業者、並びにPPP/PFI事業者等による健康・スポーツ講習会やイベントの開催（令和5年度～予定）
- ・民間事業者、並びにPPP/PFI事業者等によるマルシェの出店等（令和5年度～予定）

密接な  
関連性



### (3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）

- ・新規施設が整備されることから、公園施設の機能の再配置やリノベーションが必要
- ・新たな公園施設計画箇所について、周辺の造成等が必要
- ・運動教室や健康増進につながるプログラム等の展開に向けた施設の更新・改修が必要

### (4) 【調査内容】

- ①公園（園路、公園施設、駐車場等）再整備に係る基本計画の検討（需要調査・概略設計等）
- ②公園施設の整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討調査

### (5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- ・コロナ禍等を踏まえた市民の健康・スポーツ拠点として再整備することで、市東部地区の活性化を図る
- ・公園再整備に民間活力を導入することで、公園の魅力向上・賑わい創出を図る



# 高千穂鉄道跡地公園化に伴う観光拠点形成のための基盤整備検討調査

## 地域の特徴等

○当町は、阿蘇の火山活動によって形成された高千穂峡等を有する観光地であり、年間140万人の観光客が訪れるものの、その多くは日帰りでの観光であることが課題となっている。

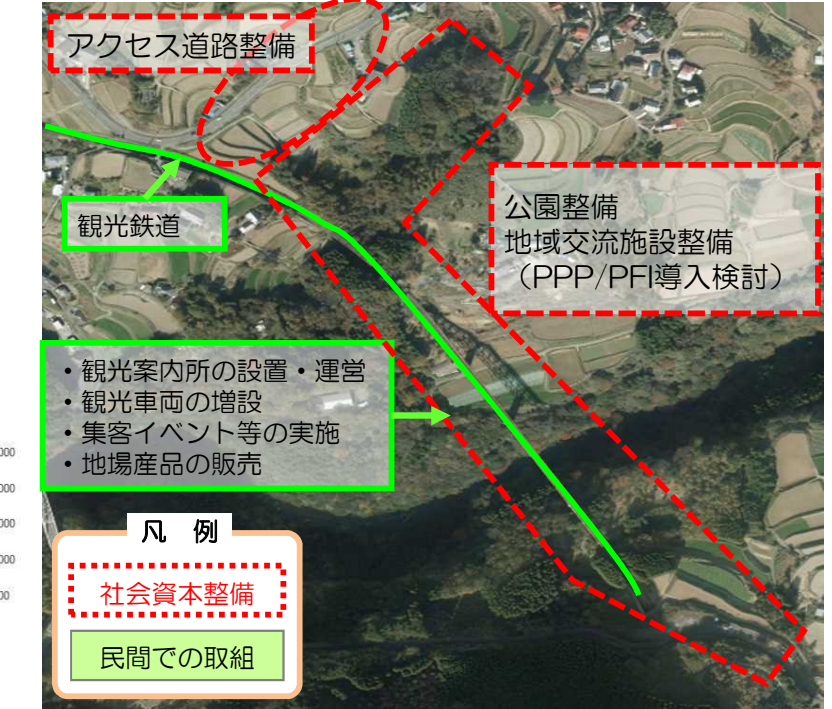
○現在、当町および周辺自治体で形成する「阿蘇くじゅう高千穂デザイン会議」では、双方が連携し、エリア間での周遊や転泊による滞在型の観光地の形成を目指しており、当町においては、平成20年に廃線となった高千穂鉄道跡地にある高千穂鉄橋を利活用した公園整備により、新たな観光拠点となることが期待されている。

【調査箇所  
みやざきけん たかちほちょう  
宮崎県 高千穂町】



(1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）

- 平成29年に高千穂町が高千穂鉄橋利活用総合整備計画において「高千穂鉄橋」の歩廊化を決定
- 令和2年に高千穂鉄道跡地公園化基本構想策定に向け、官民連携での検討会を開始
- 令和3年2月に高千穂鉄道跡地公園化基本構想を策定、4月より町ホームページにて公表



(2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- （一社）高千穂町観光協会が観光案内所の設置・運営、観光情報発信・観光地周遊促進の実施（令和7年度～）
- （株）あまてらす鉄道が観光車両の増設や集客イベント等の実施による観光客受け入れ態勢の強化（令和7年度～）
- 地元商店会、地元公民館等が地場産品、特産品の開発・販売（令和7年度～）
- PPP/PFI事業社が公園、地域交流施設等の整備・管理運営

(3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）

- 鉄橋を利活用した新たな観光地整備を進めることにより、当該地区の魅力向上させる拠点整備が必要。
- 民間事業者等との活動と連携し、公園施設を核とした交流拠点の整備により、地域活性化を図る必要がある。

密接な  
関連性

(4) 【調査内容】

- 公園、地域交流施設、道路等の基本計画、基本設計（公園の機能・導入施設の配置・規模等の検討）
- 公園、地域交流施設等の整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討

(5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- 新たな観光地の整備による観光客入込数の増加、滞在型観光客の増加、周遊観光の促進等による地域経済の活性化

# 山代地域における広域観光拠点形成のための基盤整備検討調査

## 地域の特徴等

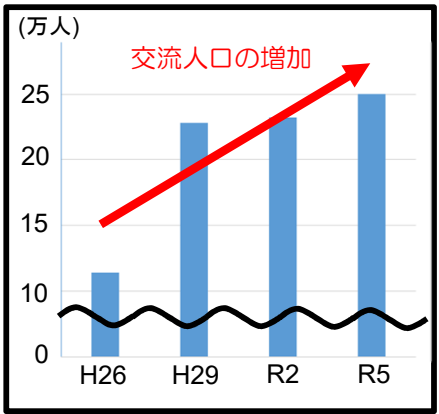
○山代地域は、広域観光周遊ルート「昇龍道」のモデルコース上に位置し、温泉共同浴場の「総湯」や「九谷焼」など地域資源を有している。また、五十音図の創始者といわれる明覚上人の供養塔「薬王院五輪塔」が建ち、ゆかりの地であることをPRする「あいうえおの郷構想」を展開している。さらには古くから里山として親しまれてきた萬松園風致地区が温泉地の背後に位置しており、これらの豊富な観光資源等を活かして当該地域を拠点とした複数の自治体の観光地を巡るツアーが企画され、観光協会やまちづくり会社により温泉地再生の活動が活発化している。

○風致地区である「萬松園」は、時代と共に十分な管理がなされないようになりつつあることから、地域の個性や強みを活かした広域観光の拠点となる公園として、Park-PFIによる施設整備を検討することとされている。

【調査箇所：石川県加賀市】  
位置図



北陸新幹線敦賀間開業による  
交流人口の実績と予測



**(1) 社会的背景・状況の変化等 (きっかけ)**

- 平成27年の北陸新幹線金沢開業により交流人口が増加し、令和5年の敦賀間開業では更に増加が見込まれる
- 平成30年2月策定の第2次加賀市観光戦略プランによる観光推進
- 令和元年12月に広域観光の拠点として萬松園を整備することを位置づけた緑の基本計画策定の方針を決定
- 令和元年12月に緑の基本計画策定委員会が発足
- 令和2年3月に緑の基本計画策定に向け、官民及び観光団体等を含めた委員会を開催

**(2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定**

- 明覚上人をクローズアップした情報発信及び飲食施設の整備 (令和4年度～)
- 公園隣接地における野宴料理や花見宴会などの企画・実施 (令和4年度～)
- 商店街の建物の改修 (令和4年度～)
- 超小型電動自動車を利用した山代温泉発着の散策ツアーの企画・実施 (令和4年度～)

**(3) 基盤整備の必要性 (現状の課題等)**

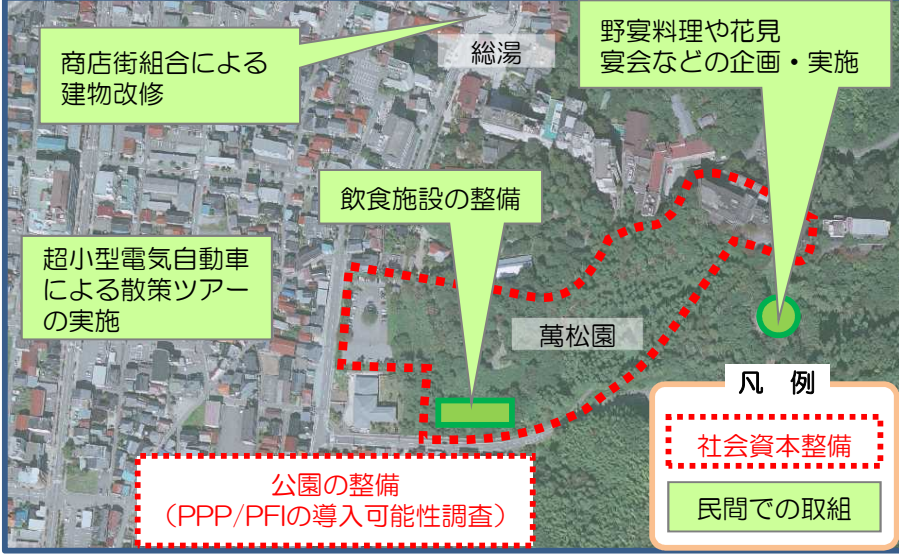
- 新幹線金沢敦賀間開業に備え、あいうえおの郷構想の一環となる散策イベントや公園隣接地の魅力向上に資するため、広域観光の拠点となる公園整備が必要
- 地域の個性や強みを活かした活性化を図るため、官民連携による誘客が必要

**(4) 【調査内容】**

- 公園整備に係る需要予測と費用対効果の検討等
- 公園整備に係る測量調査及び基本計画の検討と概略設計等
- 公園の整備・管理運営に係るPark-PFI導入可能性調査

**(5) 民間の活動と一体的に整備する効果**

- 観光拠点公園としての整備により、公園内の収益施設の売上額増加
- 民間活力の導入は、公園を拠点とした宴や散策イベント等の活動が活発化され、地域の賑わいを創出できる



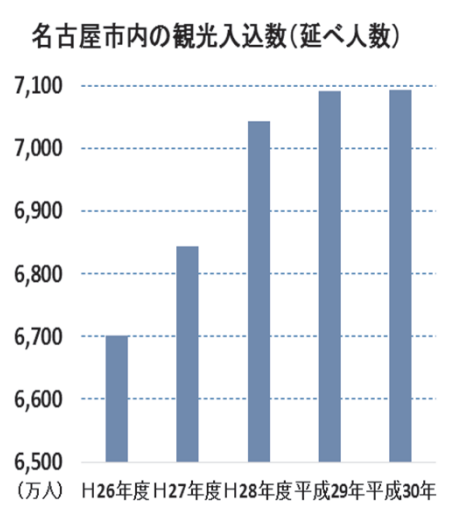
密接な  
関連性



# 久屋大通（南エリア）の再生に向けた基盤整備検討調査

## 地域の特徴等

- 栄地区のシンボル空間である「久屋大通」は、戦災復興計画により生み出された幅員約100m、全長約1.8kmの大規模公共空間であり、多くの市民に親しまれる都心のにぎわいと憩いの場であるとともに、災害時の広域避難場所としても位置付けられている。
- 久屋大通の南側のエリアは、沿道に複数の百貨店等の大規模施設が連担しており、商業地域の中心として賑わいを見せている。
- 本市では、リニア中央新幹線の開業を見据え、都心部の中心核を形成する名古屋駅地区、栄地区が連携・役割分担し、都心部のさらなる魅力向上を図るとともに、久屋大通は広域的な交流の拠点として、賑わいや憩い空間を創出することとしている。



### (1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）

- H25 まちづくりの基本方針となる「栄地区グランドビジョン」の策定
- H29～ 有識者と地元団体の代表者で構成する「南エリア」検討部会において事業化に向けた検討を開始
- R2.3 久屋大通再生有識者懇談会が「久屋大通のあり方（南エリア部分）」を提言・公表
- 久屋大通公園（北エリア・テレビ塔エリア）整備がR2年度供用開始を目前に、民間開発の機運の高まり



### (2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- (株)大丸松坂屋百貨店が、栄地区の魅力向上や活性化に資する商業施設等の開発（錦三丁目25番街区）を実施（令和8年度）
- 中部日本ビルディング(株)が、多くの人が楽しみ、憩い、集える複合ビルの立て替え再開発を実施（令和6年度）
- オリエンタルビル(株)が、三越を180mの超高層複合ビルに建替える構想を発表し計画を進める。（令和11年度）
- (株)中日新聞社等が、飲食施設等の整備、集客・交流イベントの開催（令和2年）

### (3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）

- 公園、地下空間、沿道の回遊性が乏しく、沿道の商業施設等と調和がとれた再整備が必要
- 栄地区の立地を活かした賑わい、憩いの空間の創出が必要

### (4) 調査内容

- 公園（園路、広場、吹抜け空間等）の再整備に係る概略設計等
- 公園の整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討

### (5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- 栄地区のポテンシャルを活かした、魅力ある公共空間の構築と新たな賑わい創出による栄地区全体の交流人口の増加と消費拡大の効果

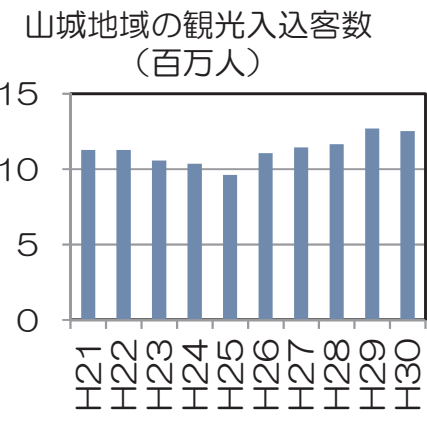
# 城陽市東部丘陵地における広域観光拠点形成のための基盤整備検討調査

## 地域の特徴等

○府立木津川運動公園は、広域観光周遊ルート「美の伝説」における主要観光ルートの「お茶の京都」エリアに位置し、日本遺産「日本茶800年の歴史散歩」をめぐるサイクリングルート上にあるが、現在、公園北側区域は未整備となっている。

○本公園周辺では、令和5年度の新名神高速道路開通（併せてスマートICを開設）に合わせて、アウトレットモールが開業するなど、企業の進出や投資が相次いでいる。こうした中、商業施設、アウトドア施設等の周辺施設と連携して相乗効果を付与するとともに、スマートインターチェンジに近接する地理的優位性を活かした、地域の魅力発信拠点となる公園整備が期待されている。

きょうとふじょうようし  
【調査箇所：京都府城陽市】

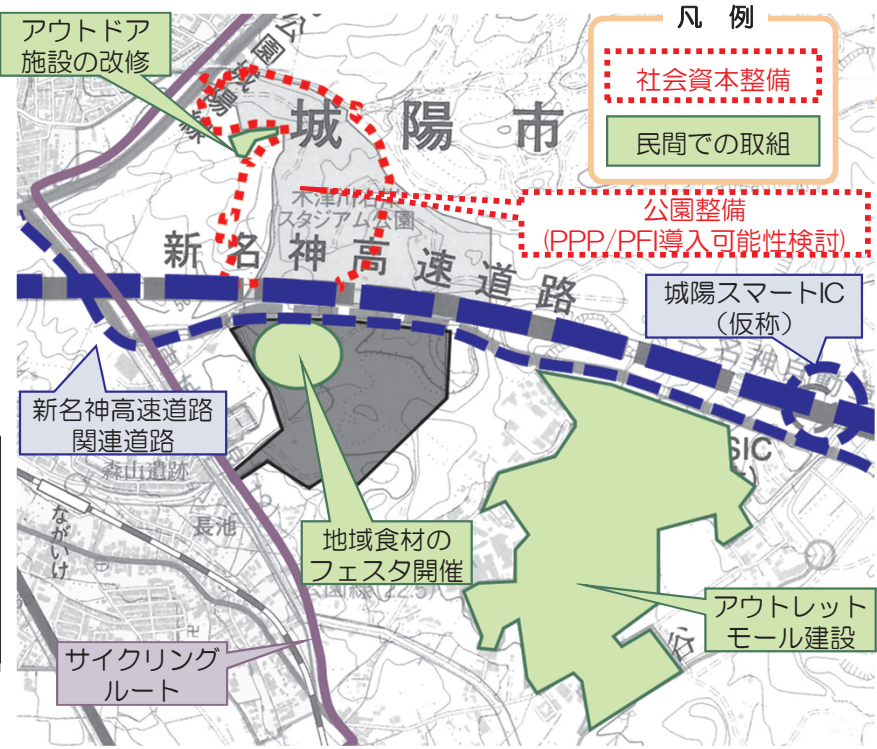


### (1) 社会的背景・状況の変化等 (きっかけ)

- 平成29年5月にアウトレットモール建設計画発表
- 令和元年10月に総合計画を策定し公園整備を位置づけ
- 令和元年11月に地元商工会議所代表が、計画見直し委員会で新名神やアウトレットを利用した公園整備を要請
- 令和2年6月に基本方針案を策定し、公開予定

### (2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- アウトドア施設の改修、公園と連携した施設の改修 (令和4年～)
- 宇治茶を初めとした地域食材のフェスタの開催、連携イベントの実施 (令和3年～)
- アウトレットモールの建設 (令和2年～)



### (3) 基盤整備の必要性 (現状の課題等)

- 新名神やアウトレットモールに近接する地理的優位性を活かした地域の魅力発信や地域振興が必要
- 山砂利採取跡地の自然再生と、新たなまちづくりが進む東部丘陵地区の魅力向上させる拠点整備が必要

密接な  
関連性

### (4) 【調査内容】

- 公園 (造成、園路、広場) 基本設計
- 公園のPPP/PFI導入可能性検討

### (5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- アウトレットモール等との連携により、広域利用者へ地域の魅力発信が可能
- 周辺施設との相乗効果や質の高いサービスの提供による利用促進や地域経済への波及効果



# 彦根市南部地域における広域的な交流拠点形成のための基盤整備検討調査

## 地域の特徴等

- 当地では、「3世紀前半を中心とするヤマト政権成立期の大集落」、「クニの成り立ちを考えるうえで重要な遺跡」と評価される日本の歴史上重要な稲部遺跡が発掘され、遺跡の保存に向けた検討が進められている。
- 一方、当地では、従来より地域住民等の憩いの場が不足しており、豊かな自然環境を活用した健康づくりの場や人々が集い、交流できる場が求められていることから、遺跡の歴史保存化と合わせ、交流の拠点となる公園整備が必要となっている。

しがけんひこねし  
【調査箇所：滋賀県彦根市】  
位置図



導入機能のイメージ

交流・イベント

自然

ヘルスケア

ヨガ、料理教室等

キャンプ

温泉・宿泊

### (1) 社会的背景・状況の変化等 (きっかけ)

- 平成27年 対象地の一部で歴史上重要な遺跡が発掘される
- 令和元年7月 みどりの基本計画改定(当該公園整備を明確化)
- 令和2年3月 市と稲枝駅西側まちづくり推進協議会による公園整備に向けた協議・調整(ワークショップの開催等)

### (2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- 本公園内に宿泊・温浴施設の整備予定(令和4年度～)
- 地元商工会や地元企業である(株)スポーツショップキムラが本公園内においてイベント等の販促活動を実施予定(令和7年度～)
- 市の観光協会によるイベント等の実施(令和7年度～)

↑ ↓  
密接な  
関連性



### (3) 基盤整備の必要性 (現状の課題等)

- 遺跡の歴史公園化による保存と合わせ、民間事業者の活動と連携した交流拠点の整備により、地域活性化を図る必要がある。

### (4) 【調査内容】

- 公園に導入する機能、施設規模等の検討
- 公園の整備計画の検討

### (5) 民間の活動と一体的に整備する効果

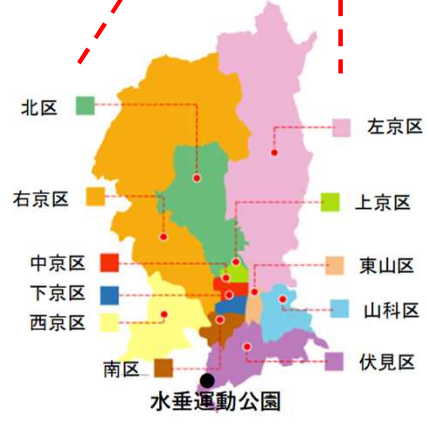
- 観光客の入込客数の増加
- 周辺地域における経済活動の活性化
- 中期的に周辺地域への更なる民間投資の促進

# 水垂運動公園（仮称）整備による交流拠点形成のための基盤整備検討調査

## 地域の特徴等

- 京都市は従来からスポーツ活動が活発であり、市民スポーツ団体やクラブチームなど多くの団体が活動していることから、慢性的に市内の競技施設が不足している。
- また、「健康長寿のまち・京都」の実現を目指す京都市では、市民の健康づくりに対する意識が高く、健康づくりを通じた地域活動や交流が行われているものの、活動スペースの不足が課題となっている。
- このため、住民のスポーツ活動の拠点となることはもとより、市内外からの利用者ニーズにも対応でき、地域交流の拠点ともなる新しい都市機能を備えた公園整備が求められている。

きょうとし  
【調査箇所：京都府京都市】  
位置図



**(1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）**

- ・ H28 公園整備基本計画の見直しを公表
- ・ R元.7～8 官民連携による公園整備に向けた協議
- ・ R2.3 公園整備の方針を見直し、「京都府初の人工芝サッカー・ラグビー場3面確保」を決定

**(2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定**

- ・ 公園内へのクラブハウスや飲食・物販店舗等の整備予定（令和5年度～）
- ・ 京都のクラブチームによる「サッカースクール」、「ファン感謝イベント」等（令和7年度～）
- ・ （公財）京都府サッカー協会による「年代別全国大会の誘致・開催」等（令和7年度～）

密接な  
関連性



**(3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）**

- ・ 民間事業者の活動と連携し、スポーツ施設を核とした交流拠点の整備により、地域活性化を図る必要がある。

**(4) 【調査内容】**

- ・ 公園の整備に係る基礎調査
- ・ 公園の基本計画の検討（導入施設の配置、規模、民間との連携を前提とした整備条件の検討等）

**(5) 民間の活動と一体的に整備する効果**

- ・ 市内外の住民の活動やスポーツ団体等の活動の幅を広げることにより
- ・ 本公園内や周辺地域への民間の投資や取り組みの更なる活性化



# 長井地区における広域的な観光拠点機能拡充のための基盤整備検討調査

## 地域の特徴等

- 長井地区は三浦半島の西側に位置し、相模湾に面した風光明媚な眺望や、荒磯がなす風致に富んだ自然海岸等の景観を有する地域資源が豊かなエリアである。この地区に立地する長井海の手公園は、PFI方式により整備・運営（平成15年～26年）が行われた全国初の都市公園（総合）であり、開園から14年が経過し年間約70万人の集客力を有する市内最大の交流拠点となっている。
- 同公園は三浦半島全域の広域観光圏の形成に向けた観光周遊化を図る拠点としても位置付けられており、広域的な観光拠点機能の拡充を図ることで、本市西海岸エリア（長井地区）や三浦半島全域に波及する賑わいを創出し「観光立市よこすか」を実現することが求められている。

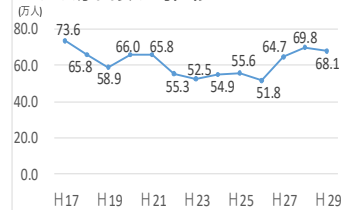
よこすかし

【調査箇所：神奈川県横須賀市】

位置図



### ■ 入場者数の推移



### ■ ドローンを用いて撮影した長井海の手公園の眺望



## (1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）

- 平成28年3月 首都圏広域地方計画策定 海洋文化都市圏の創出プロジェクトに位置付け
- 平成28年3月 三浦半島魅力最大化プロジェクト策定 広域観光周遊ルートの形成に向けた取組みに位置付け
- 平成28年9月 横須賀市観光立市推進基本計画策定 地域経済活性化に結びつく取組みに位置付け
- 平成29年10月 公園隣接地（未利用国有地）の取得要望
- 平成30年3月 横須賀再興プラン（横須賀市実施計画）策定 最重点施策として長井海の手公園隣接地活用事業に位置付け

## (2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- 事業者Aによる新たな宿泊施設の整備（H33年度～）
- 事業者Bによる地域資源である地場野菜や地魚を活用したレストランを新たに整備（H33年度～）
- 事業者Cによる公園隣接地を活用した公園施設の機能再配置、リノベーション（H33年度～）
- エコツアーガイド団体（WAFA）による新規ガイドツアー、イベントの企画（H33年度～）

密接な  
関連性

## (3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）

- 既存公園施設の交流拠点としてのポテンシャルの最大化に資する、拠点機能の充実や見直し（転換）等を行うために公園隣接地との一体的な再整備が必要
- 長井地区を含む本市西海岸の活性化を図り三浦半島の広域的な周遊観光拠点として公園整備が必要

## (4) 【調査内容】

- 公園（公園隣接地含む）及びアクセス道路整備に係る測量調査、交通量調査等
- 公園の基本計画検討（園路、広場、駐車場等の公園施設の再整備に係る概略設計、事業費検討等）及びアクセス道路整備に係る概略設計等

## (5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- 既存公園のリニューアルに民間活力を導入することでさらなる魅力向上、公園利用者数が増加
- 三浦半島の広域的な観光周遊拠点が整備され、半島全域に賑わいを創出

凡例

社会資本整備

民間での取組

ガイドツアーの企画

- 公園施設のリノベーション
- 宿泊施設の整備
- レストランの整備
- イベントの企画

公園整備

道路整備



# 赤塚山公園における地域活性化のための基盤整備検討調査

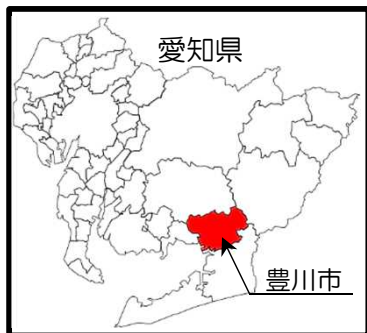
## 地域の特徴等

- 豊川市の総合公園「赤塚山公園」は、愛知県の東部の東三河に位置し、東名高速道路豊川IC及び音羽蒲郡ICにより交通アクセスに優れ、豊川稲荷に次ぐ観光資源となっており、定住・交流施策に寄与する施設であることから、東三河振興ビジョンにおいて、広域的な観光拠点として位置づけられている。
- 観光面での認知度向上の取組の中で、豊川市観光協会により優れた地域資源として、平成30年3月に赤塚山公園を「とよかわブランド」に認定し、PRすることで、広く豊川市そのものの価値を高め、産業振興、観光推進と地域活性化を図っている。
- 開園から26年が経過し、利用者年齢層の変化、公園施設の老朽化などにより、公園の魅力低下に繋がることが懸念されることから、平成35年度の開園30周年リニューアルに向けて、官民連携による地域活性化、交通の要衝を生かした観光振興の強化を図ることを重視した再整備を行うことで、地域資源として磨き上げる方針を決めたところ。

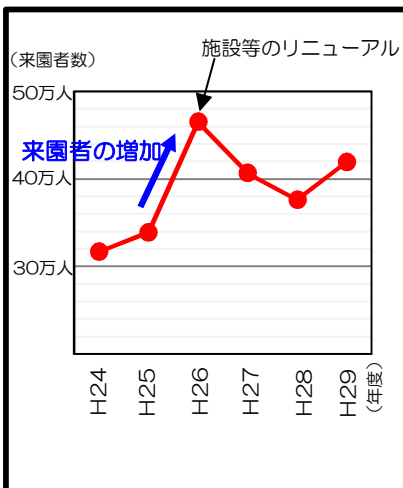
とよかわ

【対象地域：愛知県豊川市】

### 位置図



赤塚山公園  
施設リニューアル時の来園者推移



## (1) 社会的背景・状況の変化等 (きっかけ)

- ・平成28年3月策定された中部圏広域地方計画「中部圏創生暮らしやすさ実感プロジェクト」に即した地域資源の磨き上げに取り組む。
- ・平成29年3月策定された東三河振興ビジョンにおいて、新東名インパクトを活かした広域観光の新展開の拠点として、観光施設整備を取組み、広域的な周遊性の強化を図っている。
- ・平成29年度策定の豊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、「ひとの流れづくり」として、集客力の高い赤塚山公園などの地域資源の活用と新たなブランドの創出を図ることを位置づけ。
- ・平成31年度策定予定の第2次豊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、官民連携の重点プロジェクトとして位置づける予定。

## (2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- ・豊川市観光協会、豊川稲荷による観光と豊川稲荷の宿坊を宿泊所としたスポーツ合宿を企画・実施 (平成31年度～)
- ・豊川市農業担い手育成総合支援協議会による豊川産の農産物等の販売し、新規就農者支援や地産地消の推進活動 (平成31年度～)
- ・豊川市地域公共交通会議によるコミュニティバスのロケーションシステム構築・運用 (平成33年度～)
- ・特定非営利活動法人A社による知的障害者の職業訓練とした販売活動と、B社による地元生産野菜の販売の同時開催とした事業拡大 (平成35年度～)

## (3) 基盤整備の必要性 (現状の課題等)

- ・公園施設が老朽化し、開園30周年に向けて改修が必要
- ・社会情勢の変化により、公園施設や管理運営面などに関する市民ニーズも変化しており、時代のニーズに合った施設に再整備することが必要
- ・地域活性化のため官民連携とした活動により、広域圏の来園者を誘致することが急務

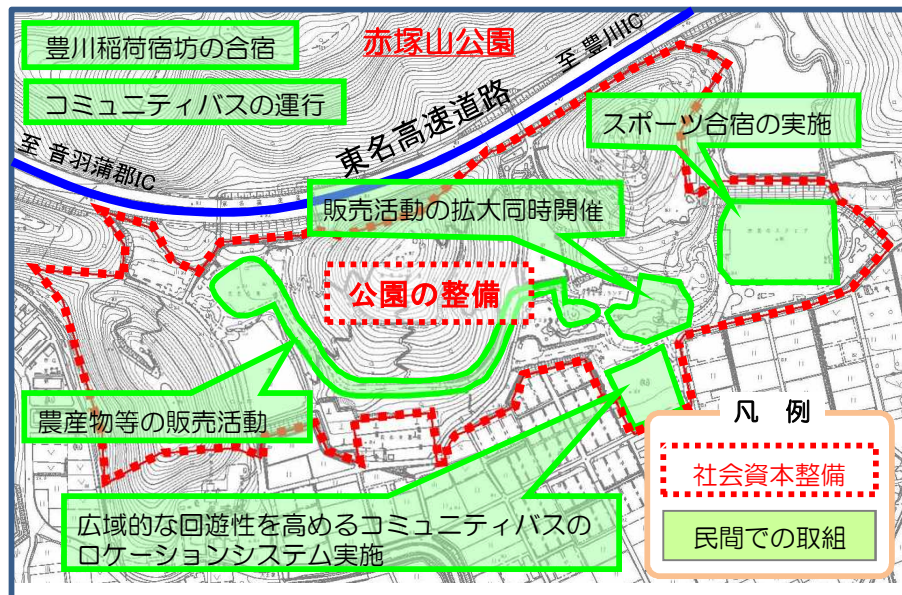
密接な  
関連性

## (4) 【調査内容】

- ①公園施設の再整備に係る基本計画・基本設計の検討 (園路、広場、駐車場等の公園施設整備に係る概略設計等)
- ②公園施設の整備・管理運営に係るP-PFI導入可能性検討

## (5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- ・公園の魅力向上による公園利用者の増加。
- ・基盤整備を行うことにより、民間事業者の活動が活発になることで、観光客の増加に繋がり、滞在時間を延ばすことで、消費単価の上昇を促し、地域全体の価値の向上が図れる。



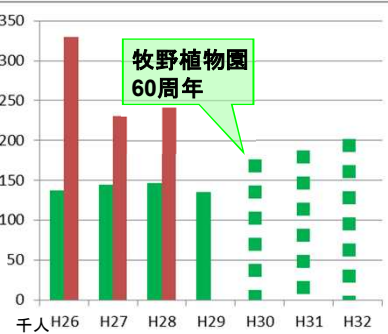
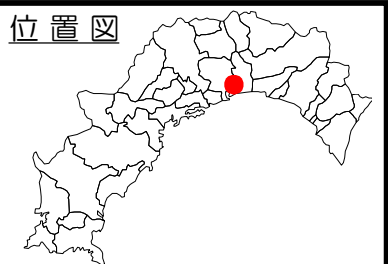


# 五台山地域における広域的な観光拠点形成のための官民連携基盤整備検討調査

## 地域の特徴等

- 五台山は、世界的植物学者である牧野富太郎の偉業を記念して造られた牧野植物園や四国八十八箇所霊場31番札所の竹林寺、中四国3大夜景を楽しむことができる展望台レストランを有する県立五台山公園など、自然、文化、景観等がコンパクトに集約した県内有数の観光地であり、広域観光周遊ルート「スピリチュアルな島～四国遍路～」に位置づけられている。
- 第3期高知県産業振興計画ver.3（H28～H31）では、外国人観光客の受入れ強化や自然、歴史を活かした磨き上げ、地域一体を周遊できる観光クラスター形成等に取り組み、H25年以降5年連続で県外入込客数400万人を達成している。
- 近年の大型クルーズ船の就航増など、インバウンド観光が加速するなか、県は五台山全体の観光振興を図る「磨き上げ事業」に取り組んでおり、平成30年度に開園60周年を迎えた牧野植物園では、先行して大規模な施設リニューアルに着手している。

【対象地域：高知県高知市】



■ 牧野入園者数 ■ 竹林寺入館者数

**牧野植物園入園者数の目標**  
 現状: 14.6万人 → H32: 20万人

**高知県への県外観光客入込数**  
 現状: 440万人 → H37: 470万人

**外国人延べ宿泊客数の目標**  
 現状: 8万人泊 → H37: 30万人泊

## (1) 社会的背景・状況の変化等 (きっかけ)

- ・五台山地区を含む観光ルートが観光庁認定の広域観光周遊ルート「スピリチュアルな島～四国遍路～」のモデルコースに認定 (H27.6認定)
- ・四国圏広域地方計画 (H28.3策定) に「美しい自然とおもてなしの心による「視国」観光活性化プロジェクト」に位置付け
- ・牧野植物園磨き上げ基本構想 (H29.12策定) にて、五台山公園、竹林寺と連携した観光振興の推進を位置づけ
- ・第3期高知県産業振興計画ver.3 (観光分野) において、国内外から誘客できる、自然・体験をテーマにした観光拠点等の整備を位置づけ (H30.3策定)



## (2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- ・高知県旅館ホテル生活衛生同業組合が、夜景を活かした食事プランやビアガーデン等のイベントを企画・開催 (H33年度予定)
- ・(公財) 牧野記念財団が周辺観光施設と連携し、五台山地区の広域観光イベントを企画・開催 (H33年度予定)
- ・(宗) 竹林寺が、宿坊や売店、軽食店等を整備
- ・高知市内の観光地を巡回するMy遊バスの運行増 (H34年度予定)

密接な  
 関連性

## (3) 基盤整備の必要性 (現状の課題等)

- ・牧野植物園や竹林寺、五台山公園を結ぶ園路は一方通行で周遊できる道路がなく、観光拠点としての一体性が欠落
- ・各施設に十分な駐車場容量がなく、イベント時等は常に不足
- ・五台山展望台は老朽化と耐震性不足、バリアフリー未対応等の課題を抱えており、周辺施設と併せて魅力ある施設への建替が必要

## (4) 【調査内容】

- ①公園施設 (園路、展望台、駐車場等) の再整備に係る需要予測及び再整備計画の検討
- ②公園施設の整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討

## (5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- ・各施設間の園路、駐車場整備により周遊観光コースが形成され、五台山での民間事業者の事業運営が多角化することで観光ツアーの誘致が加速し、各施設の収益増に繋がる
- ・各施設の周遊性確保による連携したイベント等の開催
- ・リニューアルによる誘客増加、消費拡大による地域経済の活性化

# 指宿市観音崎公園における広域的な観光交流拠点形成のための基盤整備検討調査

## 地域の特徴等

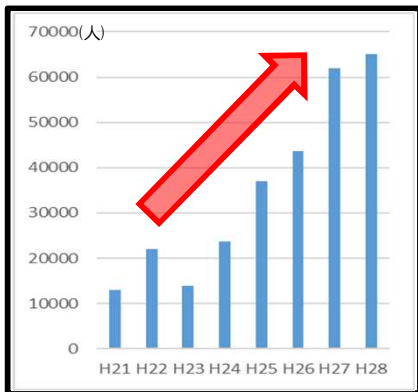
- 九州・鹿児島はアジアの国々に近く、今後も引き続きインバウンド観光客の増加が見込まれ、広域観光周遊ルート「温泉アイランド九州」にも位置づけられおり、本市はこの地域の広域観光拠点として期待されている。
- 公共交通網の再編の一環として地域間幹線交通とコミュニティ交通の結節拠点としての機能向上、レンタカーや観光バスで立ち寄れる観光拠点としての機能を併せ持つ施設整備を目指している。
- 平成16年にPFI事業手法で整備された地域交流施設(道の駅いぶすきに隣接)の期間満了後の運営事業手法について、既存施設の改修又は新たな運営手法(運営権設定等)や、Park-PFIによる施設整備を検討している。

【調査箇所：いぶすき  
鹿児島県指宿市】

### 位置図



### 外国人宿泊数の推移(指宿市)



## (1) 社会的背景・状況の変化等(きっかけ)

- ・平成28年3月 九州圏広域地方計画の策定
- ・平成28年3月 第二次指宿市総合振興計画2016-2025の策定
- ・平成28年4月 広域観光周遊ルートの公表
- ・平成31年9月 PFI事業で整備運営した観音崎公園「道の駅いぶすき」の事業期間満了

## (2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- ・A団体による外国人客向けの観光ツアーの企画・イベントの実施(平成33年度～)
- ・B交通事業者等によるデマンド交通導入や貨客混載の試験運行を実施(平成33年度～)
- ・道の駅出荷者協議会等による地元特産品の開発及び販売(平成34年度～)

## (3) 基盤整備の必要性(現状の課題等)

- ・利用客の増加に伴う駐車スペースの不足、交通結節拠点として乗継環境の充実、利用客の安全を守るための歩車分離に配慮した駐車場が必要
- ・外国人旅行客増加に伴い、広域観光拠点としての公園整備が必要

## (4) 【調査内容】

- ①広域観光拠点としての交通量及び利用者実態調査
- ②公園(駐車場等)の再整備検討及び概略設計
- ③公園再整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討

## (5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- ・広域観光拠点として更なる公園利用者数の増加
- ・地域公共交通の結節点として地域コミュニティへの貢献
- ・利用者及び売上げの増加による地域活性化への貢献



密接な  
関連性



## 金田一近隣公園を活用した観光振興及び地域活性化のための基盤整備調査

### 地域の特徴等

- 金田一近隣公園は、二戸市金田一温泉地区に設置した都市公園で、温泉街の中心に位置し、昭和45年の岩手国体の水球競技に使用された公認50mプールと平成10年に開業した市営の日帰り温泉施設「金田一温泉センター」が公園内に存在する。
- 金田一温泉は、昭和50年代の最盛期には20数軒の温泉宿が存在したが後継者難や旅行形態の変化等により徐々に減少し、現在は5軒が営業するのみとなっている。しかし、意欲のある経営で奮闘する旅館も存在し、地域の若者との独自の企画や発信を行い、かつての賑わいを取り戻そうと取り組んでいる。
- 市営の金田一温泉センター及び金田一プールは、老朽化による施設劣化が著しくリニューアルは喫緊の課題となっている。現在は大学教授や建築士を入れた検討チームにより営業の可否について定期的に点検・検討を行っている。

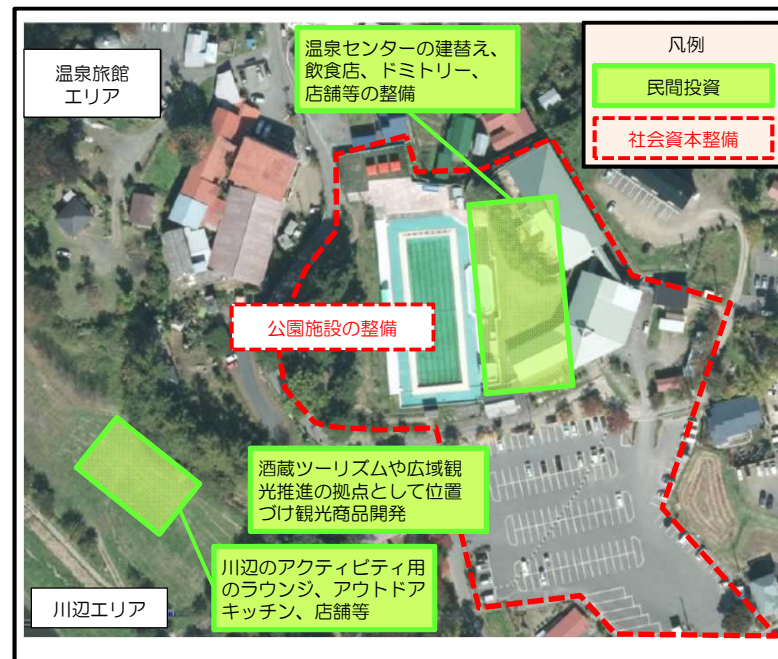
### (1) 社会的背景・状況の変化等(きっかけ)

- ・平成28年に策定した第2次二戸市総合計画実施計画及びアクションプランに金田一温泉センターの建て替えを位置付け
- ・平成28年より地方創生交付金（公民連携によるまち再生事業）において、金田一温泉地区ほか2地区を公民連携推進地区と位置づけ基本計画およびエリア全体の構想を策定中
- ・平成28年3月に策定された東北圏広域地方計画「四季の魅力溢れる東北」を体験できる滞在交流型観光圏の創出プロジェクトにおいて、岩手県北地域等の広域観光を推進

### (2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- ・民間事業者による温泉センターの建て替え、飲食店及び簡易宿泊施設、店舗等の建設（H31年度～）
- ・民間事業者による川辺エリアのアクティビティ用のラウンジ、アウトドアキッチン、店舗等の建設（H33年度～）
- ・民間事業者の連携による酒蔵ツーリズム（二戸市）、北海道・北東北縄文遺跡群（一戸町他）等と連携した広域観光商品開発（H30年度～）
- ・PPP/PFI事業者による公園の整備・管理運営（H31年度～）

### 【対象地域：岩手県二戸市】



### (3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）

- ・老朽化の著しい温泉センターの再整備にあわせ、プールを含めた金田一近隣公園を一体的に再整備することで公園の魅力向上とともに、自立した運営を図る必要
- ・岩手県北・青森県南地域は、宿泊施設や二次交通が脆弱なため、東北新幹線二戸駅が立地するメリットを活かし、広域的な観光インフラとの連携を図る必要

### (4) 【調査内容】

- ① 公園の基本計画検討及び概略設計
- ② 公園整備・運営に係るPPP/PFIの導入検討

### (5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- ・民間収益施設と一体で整備することで公園エリアの魅力の向上に繋がる。
- ・民間が公園整備、管理運営することで、民間の活発な投資が誘導でき、地域経済の活性化に繋がる。



# 官民連携による賑わい創出のための玉川野毛町公園拡張整備検討調査

## 地域の特徴等

- 玉川野毛町公園は、世田谷区の南部、多摩川に近く、国分寺崖線の崖上の武蔵野台地に位置する古くから地域に愛された地区公園である。
- 世田谷区は、玉川野毛町公園の拡張用地として、国家公務員宿舎跡地の一部を取得し、整備する計画を平成28年に公表し、平成35年度末の開園（予定）を目指し、官民連携による賑わい創出や住民参加・住民協働のスキームの検討を開始しているところである。
- 調査地区は、東京23区唯一となる自然渓谷を擁する等々力渓谷公園に近接し、野毛大塚古墳の出土品が国の重要文化財に指定されるなど、東京世田谷の自然、地勢上、重要な場所に位置しているとともに、都道311号（環状八号線）に接道し、第三京浜玉川インターチェンジの手前に位置する好立地をいかし、官民連携による賑わいの創出を図る観光振興への取組みが求められている。

せたがや

【対象地域：東京都世田谷区】

### 位置図



## (1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）

- H27年4月 世田谷区都市整備方針を策定
- H28年3月 首都圏広域地方計画（洗練された首都圏の構築、都市基盤施設の質の向上等の取組方針を位置付け）
- H28年8月 世田谷区が公園拡張整備計画（H35年開園予定）を公表
- H29年4月 官民連携による公園整備に向けた検討・協議を開始

## (2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- PPP/PFI事業を取り入れた公園の計画・整備・管理運営（平成32年度～）
- 民間事業者による普及啓発、体験学習の場や便益施設等の計画・整備・管理運営（平成32年度～）
- 住民参加・住民協働による公園管理・運営体制の構築を図る（平成36年度～）

密接な  
関連性

## (3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）

- 老朽化した公園施設の改修が必要
- 玉川野毛町公園を中心として世田谷区を代表する自然、歴史文化の拠点として再整備し、分断されている玉川野毛町公園と等々力渓谷公園までのネットワークとしての回遊性向上を図ることが必要

## (4) 【調査内容】

- 公園基本計画の策定
- 公園の整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討（事業及び整備スキームの検討、官民役割分担の検討等）

## (5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- 自然、歴史文化の効果的な普及啓発
- 公園の魅力向上による公園利用者の増加



凡例

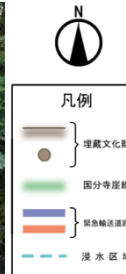
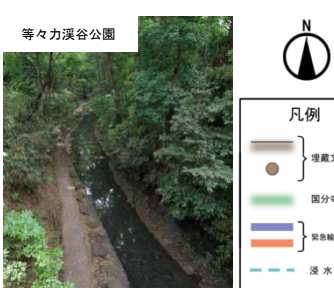
社会資本整備  
民間での取組

普及啓発、体験学習の場、便益施設の整備

PPP/PFI事業を取り入れた公園の計画・整備・管理運営

住民参加・協働による公園管理・運営体制の構築

公園整備





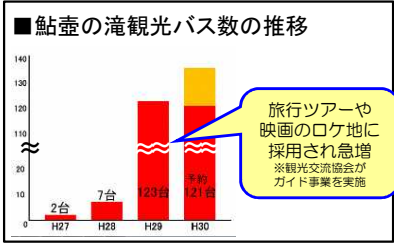
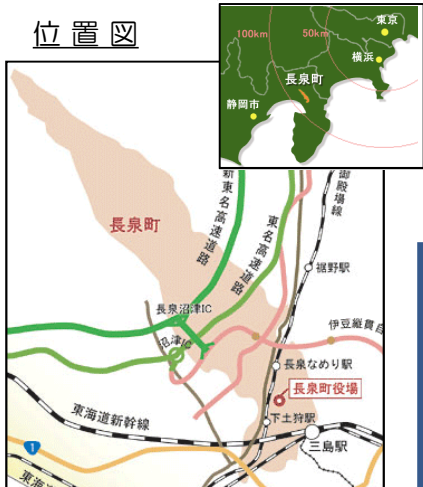
# 鮎壺公園を活用した観光交流及び下土狩駅周辺の活性化のための基盤整備調査

## 地域の特徴等

- 長泉町は、富士山の南東、伊豆半島の付け根に位置し、東海道新幹線三島駅や東名高速道路沼津IC、新東名高速道路長泉沼津ICにより首都圏等への交通アクセスが優れており、企業の進出が進み居住需要が増加し、着実な発展を続けている。
- 鮎壺公園の隣には、富士山の溶岩流の岸壁を流れる鮎壺の滝があり、平成25年に伊豆半島ジオパークに登録され、富士山が眺望できる市街地の滝として注目され観光客が増加しており、世界ジオパーク認定を目指している。
- 下土狩駅は、明治31年に開業した初代三島駅であり歴史のある駅である。現三島駅北口（三島市）とは直線で約1.4kmであり、連続した都市空間を形成し鮎壺公園の整備と連携することで、地域の活性化と観光交流の推進を図る方針である。

【対象地域：すんとうぐんながいすみ 静岡県駿東郡長泉町】

位置図

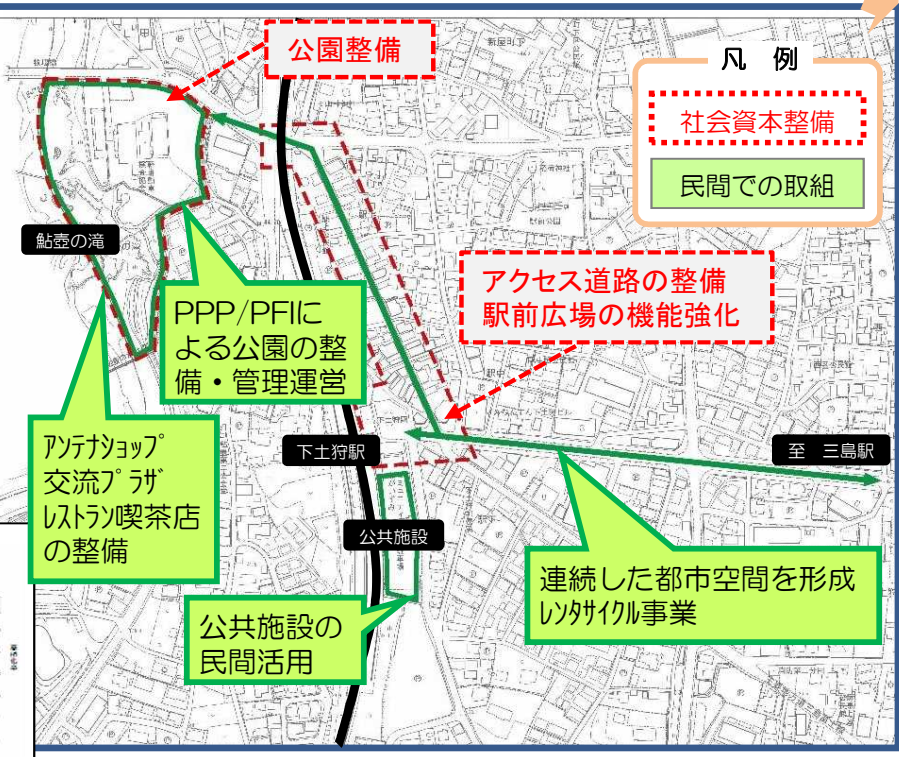


### (1) 社会的背景・状況の変化等 (きっかけ)

- ・ 地域振興策等により平成42年まで人口増加見込み、8年連続で地価上昇（平成29年公表）
- ・ 平成28年3月策定された中部圏広域地方計画に地域資源を活用した観光振興の取組方針を位置づけ
- ・ 鮎壺公園の整備と下土狩駅周辺の活性化を立地適正化計画に位置づけ（平成30年度公表予定）

### (2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- ・ 観光交流協会や民間企業がアンテナショップや交流プラザの整備（H35年度～）滝のロケーションを活かした民間事業者によるレストラン、喫茶店の整備（H35年度～）
- ・ 民間事業者がレンタサイクル事業の展開（H33年度～）
- ・ 民間事業者が公共施設を活用して小売店舗、飲食店を実施（H36年度～）
- ・ PPP/PFI事業者が公園の整備・管理運営を実施（H35年度～）



### (3) 基盤整備の必要性 (現状の課題等)

- ・ 増加する住民と観光客に対応する公園の整備が必要
  - ・ 観光客等の下土狩駅からの動線における自転車走行空間と歩行空間の整備が必要
  - ・ 駅前広場等の交通結節点機能の強化が必要
- 密接な関連性

### (4) 【調査内容】

- ①公園整備の検討（概略設計等）
- ②駅前広場の活用、アクセス道路の再整備等の検討（現況調査、整備計画等）
- ③公園の整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討

### (5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- ・ 駅から公園への回遊性、交通結節点機能の向上
- ・ 民間による公園の整備管理で投資誘導、経済の活性化
- ・ 駅周辺の店舗の売り上げの増加・観光客の入り込み数



# 「ビワイチ」促進と連携した県営金亀公園（仮称）彦根総合運動公園 整備のための検討調査

## 地域の特徴等

- 県営金亀公園（仮称）彦根総合運動公園は、平成36年に開催される国民体育大会・全国障害者スポーツ大会の主会場としての機能を備えた都市公園として再整備するため、平成27年に公園整備基本計画を策定している。また、隣接する彦根城では、現在、世界遺産登録に向けた準備が進められている。
- 平成28年3月に策定された近畿圏広域地方計画の「歴史・文化・おもてなしプロジェクト」では、琵琶湖の自転車による周遊観光などの取組を戦略として掲げ、「ビワイチ」や「ビワイチ・プラス」を核に官民連携で地域活性化を進めており、琵琶湖周辺や県内各地において、民間事業者による駐輪スペースや休憩施設の設置、備品の販売や情報発信などの取組が広がってきている。

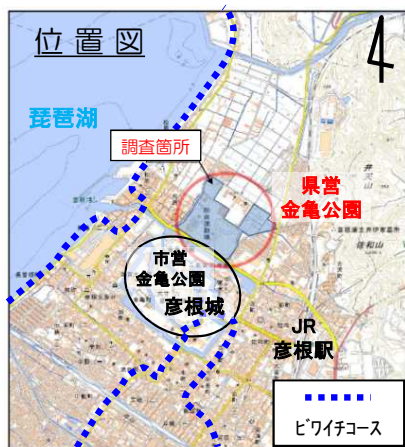
### (1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）

- ・平成26年度 平成36年開催の国民体育大会等の主会場が県営金亀公園に内定
- ・平成29年度 彦根市は彦根城の世界遺産登録を目指し推薦書原案の作成に着手
- ・平成29年3月「彦根市都市計画マスタープラン」に県営・市営金亀公園の整備を位置づけ
- ・平成30年3月「ビワイチ推進総合ビジョン」を策定

### (2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- ・公益社団法人彦根観光協会による観光や物産に係る情報発信、多様なビワイチの促進
- ・滋賀プラス・サイクル推進協議会が募集する「ビワイチ」サポートステーションへの登録・開設
- ・民間事業者が交流広場等に収益施設（カフェ・サイクルショップ等）の整備・管理を実施
- ・PPP/PFI事業者による公園の管理運営

### 【対象地域：滋賀県彦根市】



密接な  
関連性

### (3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）

- ・国体開催後においても、世代をこえて人々に長く愛着を持って利用されるように多様な機能を備えることが必要
- ・「ビワイチ」のスポットに加え、彦根城の世界遺産登録によって、国際観光拠点・広域観光拠点として、観光客をもてなす魅力的な公園サービスの提供が必要

### (4) 【調査内容】

- ①公園整備（駐車場、広場等）に係る需要調査、施設検討
- ②公園の管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討

### (5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- ・民間施設との一体的な整備により、公園利用者数の増加
- ・民間の活発な投資の誘導により、地域経済が活性化
- ・公園整備費及び維持費の縮減
- ・観光や「ビワイチ」関連の民間事業者の活動が活発になり、地域経済の活性化に繋がる。





# JR塩山駅周辺地区における地域活性化のための基盤整備検討調査

## 地域の特徴等

- JR塩山駅は、甲府盆地の玄関口機能を有する交通要所であり、行政機関・教育施設・商店街が立地する市の中心地である。本駅はJR中央本線の特急停車駅であることに加えて、平成29年5月から運行開始した「トランスウィート四季島（JRクルーズトレイン）」において県内唯一の停車駅に選定され注目を浴びている。
- 「首都圏広域地方計画」中の「大観光時代に対応した基礎的観光力向上プロジェクト」内「TOKYO & AROUND TOKYO」事業において、本市はワイン・果樹・歴史文化財等の観光コンテンツを多数有する市として広域観光拠点地区に位置付けられた。
- 平成29年3月に「歴史的風致維持向上計画」によって「歴まち」の認定を受けるとともに、同年同月伝統的な果樹栽培技術が認められ「日本農業遺産」の認定を受けた。また、民間による駅前ホテルの建設計画が現実的になっていることから、当駅の周辺整備が急務となり都市再生整備計画事業（H30～H34）による塩山駅前広場整備を進めている。

### (1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）

- ・平成28年3月 「首都圏広域地方計画」策定
- ・平成29年3月 「歴史的風致維持向上計画」で「歴まち」の認定
- ・平成29年3月 伝統的な果樹栽培技術等により「日本農業遺産」の認定
- ・平成29年5月 JR東日本[トランスウィート四季島]発着開始
- ・平成30年4月 「都市再生整備計画事業」開始（H30～H34）
- ・平成30年5月 「葡萄畑が織りなす風景」として「日本遺産」の認定

### (2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- ・(株)山梨中央銀行が甲州市との地方創生包括連携協定（H29年度締結）に基づく空店舗活用及び古民家活用への資金協力（H32年度～）
- ・鶴興社(株)による新規観光ツアー、イベントの企画（H34年度～）
- ・山梨交通(株)・(株)栄和交通バスによる路線の再編・増便（H33年度～）
- ・PPP/PFI事業者が公園の整備・管理運営（H32年度～）
- ・(株)東横インによるホテル建設（H32年度～）

### (3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）

- ・駅周辺に観光情報提供及びイベント開催ができる施設がないため、それらの機能を有する公園の整備が必要
- ・駅から公園までのアクセス道路及び誘導サインの整備が必要

### (4) 【調査内容】

- ①交通量調査、公園整備に係る需要調査
- ②アクセス道路の概略設計
- ③公園及び古民家改修の概略設計
- ④公園整備・管理運営のPPP/PFI導入可能性検討

### (5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- ・駅周辺の観光情報拠点及び交流拠点機能の強化
- ・観光客の入り込み数及び観光産業の売上げの増加
- ・空店舗活用の増加 ・交流人口の増加

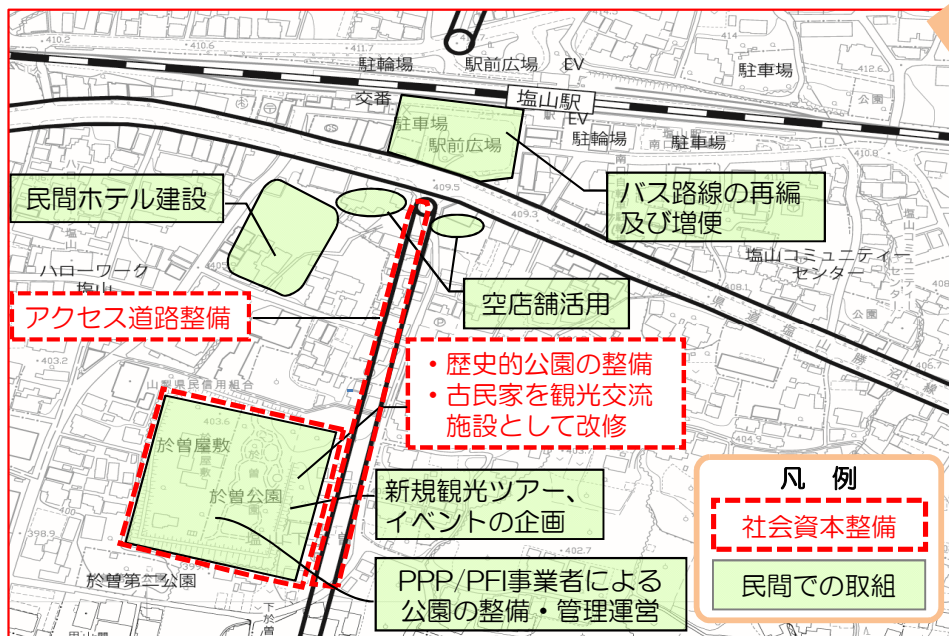
【対象地域：山梨県甲州市】



四季島ルート(停車駅)



塩山駅南口にて、トランスウィート四季島の到着を歓迎する風景



凡例

- 社会資本整備
- 民間での取組

密接な  
関連性



# 須崎市における高台整備による地域活性化のための基盤整備検討調査

## 地域の特徴等

- 須崎市は高知県の太平洋沿岸ほぼ中央に位置し、全体的に山岳丘陵地帯が多く、須崎湾に面した平坦地に市街地が形成されている。
- 津波災害には脆弱な地形的特徴を持っており、人口が集中する市街地についてはそのほとんどが南海トラフ地震での津波浸水想定区域内となっている。また、人口減少と少子高齢化の傾向にあり、津波に対する不安感がより拍車をかける現状となっている。人口減少に歯止めをかけ、産業・観光振興、地域活性化につながる方策を官民あげて模索している。
- 高台への公共公益的施設等整備や宅地整備によるまちづくりにより定住を促進し、景観を活かした公園整備により観光振興と地域活性化を図る。

すさき

【対象地域：高知県須崎市】  
位置図



**(1) 社会的背景・状況の変化等 (きっかけ)**

- ・南海トラフ地震防災対策推進地域・南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域の指定
- ・須崎市高台等移転検討委員会を開催し、高台移転についての課題や方針について検討
- ・平成30年度内に安心して暮らすことのできる魅力あるまちを目指すための「津波防災地域づくり推進計画」を策定予定

**(2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定**

- ・医療機関等の公共公益的施設の整備
- ・PPP/PFI事業者による公園等の整備・管理運営
- ・建設事業者による宅地整備



**(3) 基盤整備の必要性 (現状の課題等)**

- ・観光振興および地震・津波からの避難者を受け入れられる体制づくりを可能とするため、地域のシンボルになりうる高台の公園の整備が必要
- ・地域の活性化・定住促進を図るため、公共公益的施設整備に係る用地造成・道路の整備が必要

**(4) 【調査内容】**

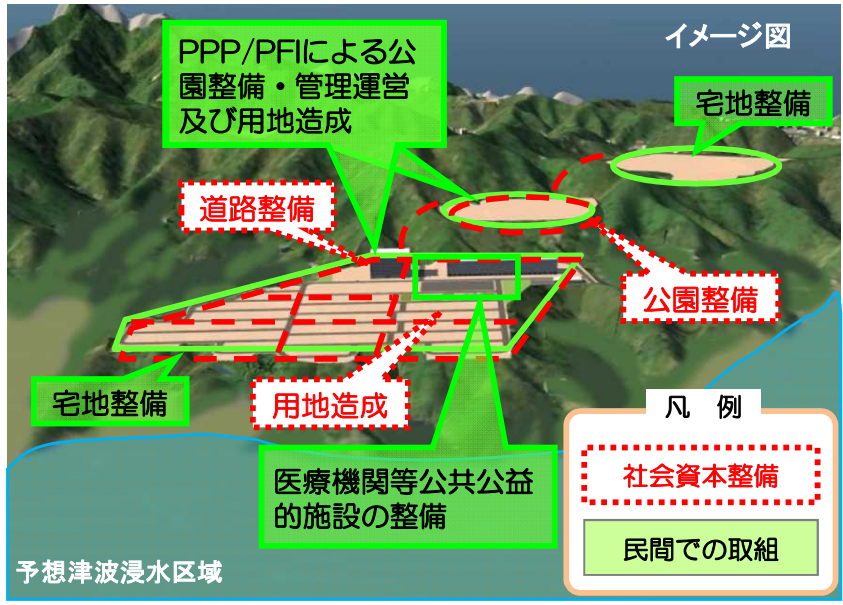
- ・公園及び道路整備、用地造成に係る需要予測、概略設計、整備効果検討
- ・公園整備・管理運営及び用地造成に係るPPP/PFI導入可能性検討

**(5) 民間の活動と一体的に整備する効果**

- ・高台整備に伴う観光、経済活動の創出による地域活性化効果として、新規事業者登録数の増加や市外からの転入による新規定住者数の増加



整備イメージ





# 岩山南公園を活用した観光振興及び地域活性化のための基盤整備調査

## 地域の特徴等

- 岩山南公園は、盛岡市の中心市街地に接しながら、豊かな森林に包み込まれており、周辺には岩山公園、ゴルフ場(冬はスキー場)、遊園地、盛岡競馬場等のレジャー施設が集積するエリア内に位置している。
- 岩山南公園の整備は盛岡広域圏の観光拠点として各種計画に位置付けられ、動物公園再生活性化の推進は28年12月の盛岡市議会において、民間ノウハウを活用する公民連携事業で実施する方針を進めることで決定した。
- 専業主婦への子育て支援及び障がい者の自立支援の都市経営課題を抱えており、岩山南公園の整備に併せて動物との触れ合いによる子育て支援事業や障がい者支援事業等の事業展開を予定している。

### (1) 社会的背景・状況の変化等(きっかけ)

- ・ H27に策定された「盛岡市観光推進計画」において『岩山南公園における新たな魅力づくり』がアクションプランとして掲げられている。
- ・ H26より隣接する岩山公園改修に着手し、連結計画をたて、エリア全体の構想を検討している。
- ・ H28.12に岩山南公園公民連携が市議会で承認された。
- ・ H29に都市公園規制緩和で都市公園内に多様な民間収益施設が可能となる見込み。

### (2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- ・ 民間事業者と連携し、岩山南公園内で民間収益事業の展開を予定 (H30~)
- ・ 岩山南公園内で子育て支援事業の展開を予定 (H30~)
- ・ 岩山南公園内に障がい者自立支援事業の展開を予定 (H30~)
- ・ PPP/PFI事業者による公園施設整備及び管理運営 (H30~)

密接な関連性

### (3) 基盤整備の必要性 (現状の課題等)

- ・ 地域資源を活用した観光振興や地域活性化を図るため、民間の積極的な参画による魅力的な都市公園整備が必要
- ・ 民間が参画することで、新たなビジネスが創出される

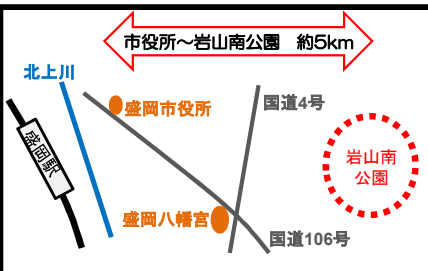
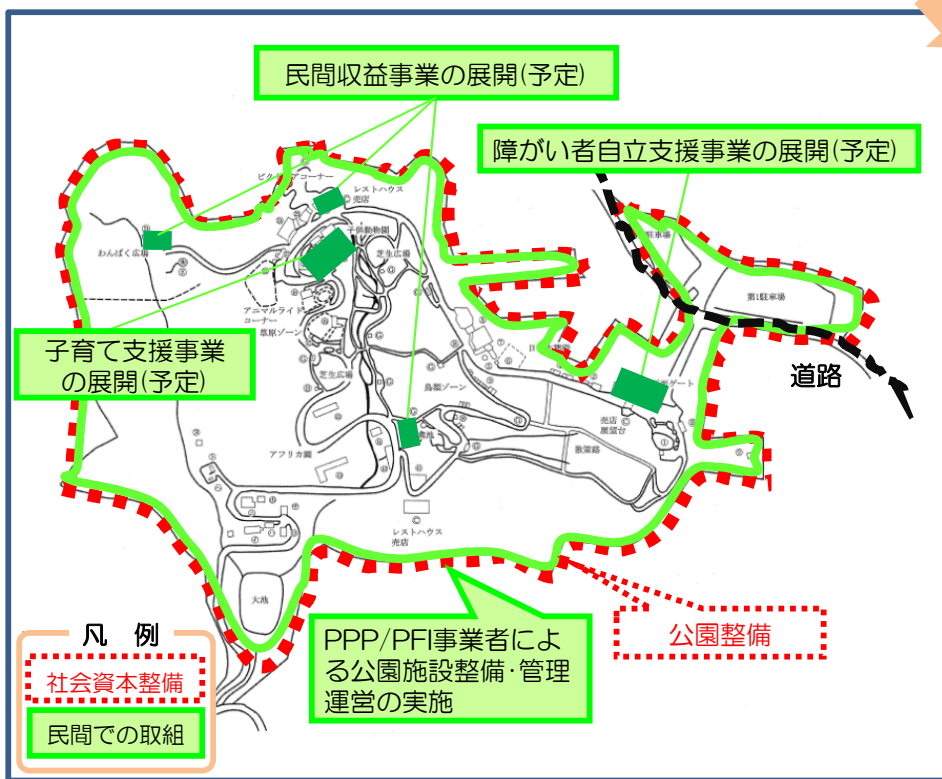
### (4) 【調査内容】

- ① 公園の基本計画検討
- ② 公園整備・運営に係るPPP/PFIの導入検討

### (5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- ・ 民間収益施設と一体で整備することで利用者数の増加に繋がる
- ・ 民間が公園整備、管理運営することで、民間の活発な投資が誘導でき、地域経済の活性化に繋がる

もりおかし  
【対象地域：岩手県盛岡市】  
位置図





## 一本松公園を活用した観光振興及び地域活性化のための基盤整備調査

## 地域の特徴等

- 宇美町は、九州縦貫自動車道の福岡ICと太宰府ICの間に位置し、福岡空港まで車で約20分とアクセスしやすく、位置特性に恵まれている。
- 宇美町は、恵まれた自然景観を生かして、人や自然に優しいまちづくりに取り組んでいるところ。中でも、一本松公園は、自然を堪能できるスポットとして、年間を通じて多くの人々が訪れている。
- 一本松公園の地域活性化の拠点としての再整備は、九州圏広域地方計画の推進に寄与しており、豊かな自然環境を活かし、広域的に魅力のある観光地として、また、まちづくりと一体となった観光資源とした地域活性化の推進を図っていく。

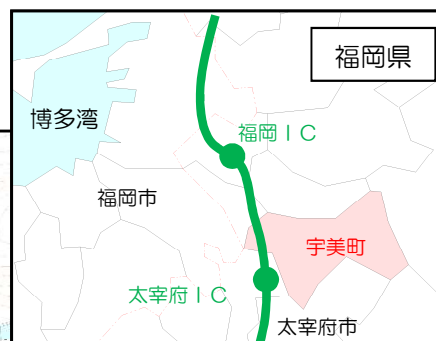
## (1)社会的背景・状況の変化等（きっかけ）

- ・ 宇美町は、宇美八幡宮や古代山城大野城跡などの歴史的・文化的な資源が残っており、近年は観光入込客数が増加している。
- ・ 平成27年3月に策定された「第6次宇美町総合計画」、「宇美町都市計画マスタープラン」において『一本松公園を活用し、観光振興を図る』ことが重点目標や基本方針として掲げられている。
- ・ 地域特性を生かした観光振興、交流人口増加や地域活性化を図るため、平成28年7月に「宇美町商工会活性化推進協議会」を設置。

うみまち

【対象地域：福岡県宇美町】

## 位置図

宇美町商工会による  
商業施設の整備PPP/PFI事業者による  
整備・管理運営

凡例

社会資本整備

民間での取組

公園整備

## (2)民間事業者の活動・新たな投資・予定

- ・ 宇美町商工会が商業施設（飲食・物販等）の整備  
(平成29年度予定)
- ・ 宇美町商工会が全国各地で開催される地域活性化のイベントに参加
- ・ PPP/PFI事業者による公園施設の整備・管理運営  
(平成31年度より)

## (3)基盤整備の必要性（現状の課題等）

- ・ 豊かな地域資源を活用した観光振興、地域活性化を図るため、民間事業者等の参画による魅力的な公園施設整備が必要。
- ・ 民間事業者が参画することにより、新たなビジネス機会が拡大され、地域経済が好循環となる。

密接な  
関連性

## (4)【調査内容】

- ① 一本松公園の需要調査
- ② 一本松公園の基本計画・概略設計・事業費算出
- ③ 一本松公園整備・管理運営に係るPPP/PFIの導入可能性検討

## (5)民間の活動と一体的に整備する効果

- ・ 公園整備により公園利用者数が増加する。
- ・ 新たな公園施設での新規雇用が創出される。
- ・ 民間事業者が管理運営に参加することで、民間投資や事業機会が誘発され、経済活動が活発化し、地域経済が好循環となる。



# 東神楽町における地域活性化と防災機能強化のための公園整備検討調査

## 地域の特徴等

- 東神楽町では、昨今の少子高齢化、核家族化、使用者の承継問題などにより、新たなお墓のニーズに多様化した墓地整備が必要とされており、従来の区画墓所に加え、合葬墓や納骨堂、ペット墓、自然的公園等の整備とともに、降雪期においてもお参りのできる墓園の建設を計画している。
- また、全国各地で異常気象に見舞われるなか、比較的自然災害の少ない当町においても、平成28年度には大雨被害により初めて避難所が開設され、一部低台に整備された避難所が洪水による被害を受ける結果となった。このため、高台地区に防災機能を備えた公園等を整備することで、災害時の新たな避難場所等としての活用が期待されている。
- 加えて、当地区は空港至近であり、大雪山系を臨む眺望のよい立地を活かし、民間事業者による物販等の施設整備が計画されていることから、これらの収益施設等の整備とあわせて公園等の整備、維持管理・運営について、民間活力を活用したPPP/PFIの導入可能性を検討する。

ひがしかぐらちょう  
【対象地域：北海道東神楽町】

位置図



新墓園イメージ図



**(1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）**

- 平成27年、墓地に関する意識調査（アンケート）を実施
- 平成28年、新墓園基本計画策定委員会を設置
- 平成28年8月、大雨により低台の避難所で洪水被害が発生、地域防災計画の見直しを開始
- 平成29年3月、東神楽町新墓園基本計画を策定

**(2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定**

- PPP/PFI事業者により、新墓園の整備、維持管理・運営を予定（H31年整備開始）
- 観光事業者による観光客向け物販等の施設整備（今後建物建築予定）
- 公園利用者向け無料Wi-Fiスポットを観光事業者が新たに整備（今後設置工事予定）

密接な  
関連性



**凡例**

- 社会資本整備
- 民間での取組

- ① 墓地（区画墓地・合葬墓）・緑地・管理棟（避難所兼）等
- ② 散策路・公園（避難場所兼）等
- ③ 火葬場・駐車場等

**(3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）**

- 新たなニーズに対応した墓地整備が必要。
- 通常時は観光や交流の拠点として、災害時は高台の避難場所として利用可能な公園整備が必要。
- 独立採算を基本とする墓地経営において、PPP/PFIを導入しコスト削減を実現することで安定した財政運営と使用者へ安定した墓地の供給が可能となる。

**(4) 【調査内容】**

- ① 現況調査
- ② 公園、駐車場等の整備計画の検討
- ③ 墓園、公園、駐車場等のPPP/PFI導入可能性検討

**(5) 民間の活動と一体的に整備する効果**

- 造成費、維持管理・運営にかかるコストの削減
- 使用者への安価で安定した墓地の供給
- 民間ノウハウの活用による新たな墓地経営の確立と防災機能の強化



# 大津市滋賀学区における地域活性化に関する調査

## 地域の特徴等

- 大津びわこ競輪場は、1950年に開設し、その収益金は、本市の教育や福祉、都市基盤の整備等のまちづくりに大きく寄与してきた。2011年の競輪事業廃止後は、この跡地が、本市の将来を考える上で重要な立地と広大な面積を有していることから、そのあり方を慎重に検討してきた。
- また、同競輪場跡地の西側には、大津宮を遷都した天智天皇を祭神として1940年に創建された「近江神宮」が存しており、『小倉百人一首』の第1首目の歌を詠んだ天智天皇にちなみ、「かるたの殿堂」とも言われ、数多くの競技かるたの行事が開催されている。
- このような地域の中で、この跡地の利活用については、まちのシンボルの中心として、公園施設との共存を図り、地域活力の創出と効率的なインフラ運営などを実現していくため、PPP/PFI導入に向けた検討をするもの。

【対象地域：滋賀県大津市】

位置図



おおつ

近江神宮

大津びわこ競輪場

### (1) 社会的背景・状況の変化等

- ・昭和25年4月に「大津びわこ競輪場」を開設
- ・平成23年3月に「大津びわこ競輪場」を廃止
- ・平成28年3月に「大津びわこ競輪場跡地利活用における民間活力導入の基本的な方針」を公表



### (2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- ・ 民間事業者（今後、公募により決定）による収益施設の整備（平成29～）
- ・ PPP/PFI事業者（公募予定者）による地域交流の施設の整備・運営管理（平成29～）

密接な  
関連性

### (3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）

- ・ 地域経済の活性化や雇用の創出に寄与する、地域住民の交流の場が必要。
- ・ 競輪場としての施設が残存しており、施設の維持管理費の負担が大きい。

### (4) 【調査内容】

- ① 基盤関連・・・多目的広場等にかかる計画の検討
- ② PPP/PFI関連・・・導入可能性検討、官民役割分担、実施方針策定、特定事業者選定

### (5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- ・ 市民が望む多目的広場の設置が可能である。
- ・ 周辺地域との一体性に寄与できる。
- ・ 地域経済の活性化、雇用の創出が見込まれる。
- ・ 民間ノウハウによる地域防災力の向上が期待される。



# 旧石垣空港跡地における地域活性化のための基盤整備検討調査

## 地域の特徴等

- 旧石垣空港は、平成25年3月の新空港の開港により閉鎖され、約50haの空地となった。ほとんどの土地が未接道・歪な形状など、宅地利用にはハードルがある。
- 県道石垣空港線・県立病院が着工中、市庁舎の移転が決定したが、その他の土地を民間利用するには課題解消が不可欠である。市は、市街化が著しい近辺を含め都市基盤整備を進めるエリアに位置付け、跡地における道路整備、土地区画整理事業等を検討している。
- 市では、高台を活かした防災拠点、医療・福祉拠点、観光・産業分野での活用を検討しているほか、民間病院が移転を表明しており、今後、開発需要が高まることが予想される。

### (1) 社会的背景・状況の変化等 (きっかけ)

- ・平成25年3月の新石垣空港開港により旧空港閉港
- ・県道石垣空港線着工

### (2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- ・〇〇会が病院・介護老人保健施設及びグループホームの開業
- ・××薬剤師会による薬局の立地
- ・〇×運輸による新規バス路線の開設

民間事業者と連携した  
土地利用・基盤整備

### (3) 基盤整備の必要性 (現状の課題等)

- ・ほとんどが未接道・不整形であるため、開発、宅地利用には跡地内の区画道路を含めた道路整備、区画の整形、整序が必要である。
- ・高台の防災拠点やスポーツ、健康増進に活用できる都市公園の整備が必要である。

### (4) 【調査内容】

- ①旧空港跡地の土地利用計画の検討
- ②公園、道路整備の概略設計

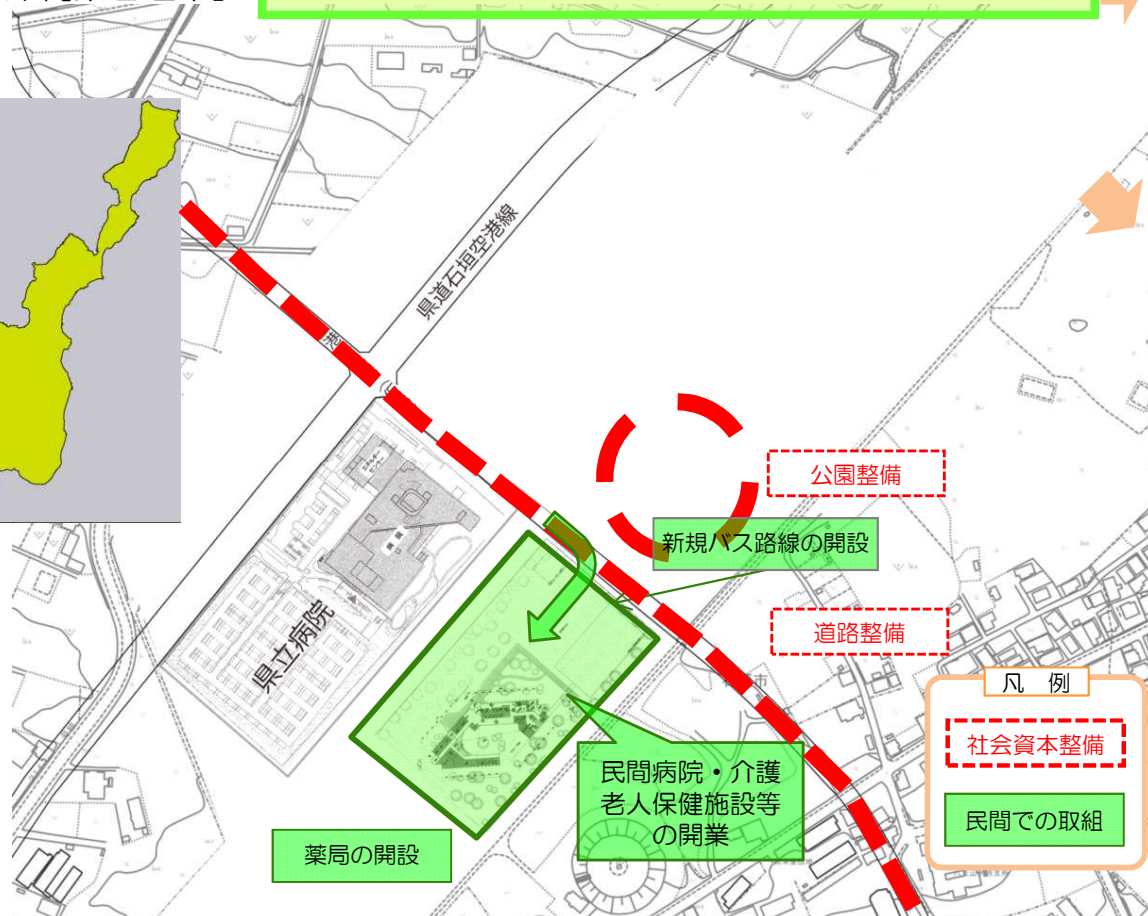
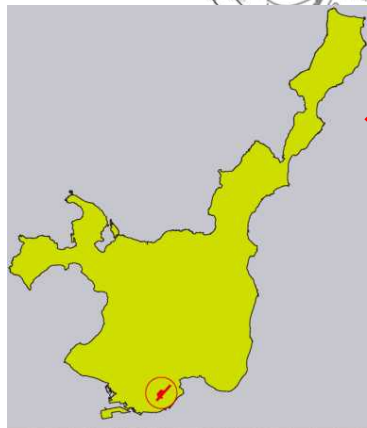
### (5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- ・基盤整備による土地の円滑な民間活用、防災機能向上
- ・民間意向を踏まえた街区の設定
- ・県立病院を核とした民間の医療福祉施設等の人流活性化に伴う観光・産業施設の立地促進
- ・上記による投資効果、開発の誘発効果

【対象地域：沖縄県石垣市】

いしがき

位置図



凡例

社会資本整備

民間での取組